

SoftBank 301SJ

User Guide 取扱説明書



SoftBank

# はじめに

このたびは、「SoftBank 301SJ」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- SoftBank 301SJをご利用の前に、「取扱説明書（本書）」をご覧ください、正しくお取り扱いください。

## ご注意

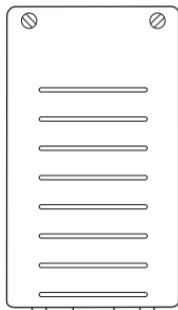
- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告なしに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、お買い上げの販売代理店までご連絡ください。

# お買い上げ品の確認

## ■ 301SJ 端末本体



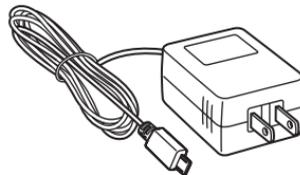
## ■ 301SJ 電池カバー (SJTAC1)



## ■ 電池パック (SJBAC1)



## ■ ACアダプタ (SJCAC1)



## ■ 取扱説明書 (本書)

## ■ 301SJ 端末本体保証書

## ■ ACアダプタ保証書

### お知らせ

- 本機の充電には、ソフトバンクが指定したACアダプタ（オプション品）を使用してください。
- 本機のACアダプタおよび、その他の付属品・オプション品につきましては、お買い上げの販売代理店までご連絡ください。
- 本機は、SDカードを利用できますが、同梱されていません。SDカードに関する機能をご利用いただくためには、市販のSDカードをご購入ください。

# 本書の見かた

## 本書での表記や画面表示について

本書において、あらかじめ次の内容についてご了承ください。

- 「SoftBank 301SJ」を「本機」と表記しています。
- 本機のディスプレイは、タッチパネル（感圧式）になっており、画面に直接触れて操作することもできます。本書では、本体のキーとディスプレイのタッチパネル（感圧式）の両方で操作できる場合は、本体のキーを使用した操作で説明しています。
- 「microSDカード」「microSDHCカード」を「SDカード」と表記しています。
- 本書内に記載している画面やイラストは、実際の画面表示や形状などと異なる場合があります。
- キーを押す操作では、実際のキーを簡略化したイラストを使用しています。
- 基本的にはホーム画面から開始する操作手順で説明しています。
- キーを1秒以上押す操作を、「長押し」と表記しています。

## 操作手順の表記について

本書では設定の操作手順などにおいて、次の操作を簡略化して記載します。

-  / （上下／左右方向キー）によるメニューやキーなどの選択操作
- （決定キー）による選択項目の確定操作

例) ホーム画面で （Menuキー）を押し、表示されるメニューから （上下方向キー）を押して「新規メッセージ作成」を選択し、（決定キー）で選択を確定する操作を次のように記載します。

### 1 ホーム画面で （Menu）→「新規メッセージ作成」

# 目次

## はじめに

お買い上げ品の確認	i
本書の見かた	ii
目次	iii
安全上のご注意	iv
お願いとご注意	xiii
防水／防塵性能について	xvii
知的財産権について	xxii
IP 無線機の比較取率 (SAR) について	xxiii

## 1 ご利用にあたって

各部の名称とはたらき	2
USIM カードについて	5
SD カードについて	7
電池パックを取り付ける／取り外す	9
充電する	11
電源を入れる／切る	12
タッチパネルの使いかた	12

## 2 基礎知識／基本操作

主な機能	16
基本的な操作のしくみ	16
無線機情報について	18
文字入力について	18
マナーモード／電波 OFF モードについて	21
画面ロックについて	21
ソフトウェアの更新について	24

## 3 画面の見かた

ホーム画面のしくみ	26
通知バーについて	27

## 4 通話／番号帳

通話／接続の設定をする	30
呼び出して通話する	30
通話履歴を確認する	34
着信に应答して通話する	36
番号帳を利用する	39
ショートカットを利用する	41
グループに登録する	42
通話を録音する	42
非常送信機能を使用する (RED ALERT)	43

## 5 状態表示

状態表示について	46
----------	----

## 6 位置情報

位置情報について	48
----------	----

## 7 メッセージ

メッセージの設定をする	50
メッセージを作成／送信する	50
受信したメッセージを確認する	53
メッセージを返信／転送する	54
メッセージ一覧画面について	54
メッセージ詳細表示画面について	55

## 8 Bluetooth®

Bluetooth® 機能をご利用になる前に	58
Bluetooth® 機能を利用する	59

## 9 端末設定

端末設定について	64
接続設定	64
機能設定	67
本体設定	70
グループ管理	72
マイクテスト	74
バックアップとリセット	75
最新バージョンの確認	77
端末情報	77

## 10 困ったときは

トラブルシューティング	80
仕様	81
保証とアフターサービス	83
お問い合わせ先一覧	84
索引	85

## 安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

## 表示の説明

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 <b>危険</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 <sup>※1</sup> を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 <b>警告</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 <sup>※1</sup> を負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 <sup>※2</sup> を負う可能性が想定される場合および物的損害 <sup>※3</sup> のみの発生が想定される」内容です。

※1： 重傷とは、失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをいう。

※2： 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをいう。

※3： 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指す。

## 絵表示の説明

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
 分解禁止	分解してはいけないことを示します。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

## 本機、電池パック、ACアダプタ、USIMカード、SDカード（別売品）の取り扱いについて（共通）

### ⚠ 危険



指示

本機に使用する電池パック・ACアダプタは、ソフトバンクが指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、ACアダプタの発熱・発火・故障などの原因となります。



分解禁止

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。

火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。本機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。



水濡れ禁止

濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れた電池パックを充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。



禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所（こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など）においても同様の危険がありますので、充電・放置・使用・携帯しないでください。

機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。



禁止

本機に電池パックを取り付けたり、ACアダプタを接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わないでください。

電池パックや端子の向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

## 警告



禁止

本機・電池パック・ACアダプタを、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機とACアダプタの発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。



指示

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。

ガスに引火する恐れがあります。プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。



禁止

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。

1. コンセントから AC アダプタを持ってプラグを抜いてください。
2. 本機の電源を切ってください。
3. やけどやけがに注意して、電池パックを取り外してください。

異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。



禁止

充電端子やUSB接続端子、外部機器接続端子に水やペットの尿などの液体や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障などの原因となります。

## 注意



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

落下して、けがや故障などの原因となります。バイブレーション設定中や充電中は、特にご注意ください。



指示

乳幼児の手の届かない場所やペットが触れない場所に保管してください。  
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。



指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。  
けがなどの原因となります。

## 電池パックの取り扱いについて



**危険**

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池



禁止

火の中に投下しないでください。  
電池パックを漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。



禁止

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。  
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



禁止

電池パックの端子に、針金などの金属類を接触させないでください。また、導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）と一緒に電池パックを持ち運んだり保管したりしないでください。  
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



指示

電池パック内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。  
失明などの原因となります。



**警告**



指示

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。  
皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。  
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



指示

電池パックの使用中・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して電池パックを取り外し、さらに火気から遠ざけてください。

異常な状態のまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



指示

ペットが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。また、ペットが噛みついた電池パックは使用しないでください。

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や機器の故障・火災の原因となります。

## 注意



禁止

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。

端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りの「ソフトバンクショップ」へお持ちください。電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

## 本機の取り扱いについて

### 警告



禁止

車を運転しながら使用しないでください。交通事故の原因となります。運転者が操作するときは、車を安全な場所に止めてからご使用ください。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意ください。電子機器の例  
補聴器・植込み型心臓ペースメーカー・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など



指示

航空機内では本機の電源を切ってください。航空機の安全に支障をきたす恐れがあります。航空機内でIP無線機の電源を入れることは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。



指示

心臓の弱い方は、着信時のバイブレーション（振動）や着信音量の設定に注意してください。心臓に影響を与える恐れがあります。



指示

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。

落雷や感電の原因となります。

## 注意



禁止

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。

本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。



指示

本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。

本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。(使用材料→P.82)



禁止

本機に磁気カードなどを近づけたりしないでください。

キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。



禁止

ストラップなどを持って本機をふり回さないでください。

本人や周囲の人に当たったり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。



指示

本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。

長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。



禁止

着信音が鳴っているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。

難聴になる可能性があります。



指示

イヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。

長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。

## ACアダプタの取り扱いについて



**警告**



**禁止**

充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。  
熱がこもって火災や故障などの原因となります。



**禁止**

指定以外の電源・電圧で使用しないでください。  
指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。  
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流 ACコンセント専用）



**電源プラグを抜く**

長時間使用しない場合は、充電器を持ってプラグをコンセントから抜いてください。  
感電・火災・故障の原因となります。



**電源プラグを抜く**

万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちに充電器を持ってプラグをコンセントから抜いてください。  
感電・発煙・火災の原因となります。



**指示**

プラグにほこりがついたときは、ACアダプタを持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などで拭き取ってください。  
火災の原因となります。



**指示**

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、ACアダプタのプラグや端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。  
感電・ショート・火災などの原因となります。



**濡れ手禁止**

濡れた手でACアダプタのプラグを抜き差ししないでください。  
感電や故障などの原因となります。



**禁止**

雷が鳴り出したら、ACアダプタには触れないでください。  
感電などの原因となります。



**注意**



**電源プラグを抜く**

お手入れの際は、コンセントから、必ずACアダプタを持ってプラグを抜いてください。  
感電などの原因となります。



指示

ACアダプタをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、ACアダプタを持ってプラグを抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。



禁止

ACアダプタをコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。

けがや故障の原因となります。



禁止

充電端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。

感電・傷害・故障の原因となります。

## 医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会〔平成9年4月〕）に準拠、また「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」（総務省〔平成25年1月〕）の内容を参考にしたものです。



警告



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカー等の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。



指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどに確認してください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。



指示

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

- 手術室・集中治療室 (ICU) ・冠状動脈疾患監視病室 (CCU) には、本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本機の電源を切ってください。
- ロビーなど、IP無線機の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本機の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。



指示

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、身動きが自由に取れないほど混雑した状況等、15cm以上離隔距離を確保できない恐れがある場合には、事前に通信機能が使用できない状態（例：電波OFFモード）に切り替えるか、またはIP無線機の電源をお切りください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

# お願いとご注意

## ご利用にあたって

- USIMカードや、USIMカード装着済みの本機を盗難・紛失された場合は、必ずお買い上げの販売代理店までご連絡のうえ、緊急利用停止の手続きを行ってください。
- 事故や故障、修理などにより本機/SDカードに登録したデータ（番号帳など）や設定した内容が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な番号帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 本機は、電波を利用しているため、屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機の電源を入れるたびに、本機の情報の一部が送信されます。
- 本機を公共の場所をご利用いただくときは、周囲の方の迷惑にならないようご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで本機を使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- 本機は国内での利用を前提としています。海外ではお使いいただけませんので、ご注意ください。
- SDカードをご利用になるときは、あらかじめSDカードの取扱説明書をよくお読みになり、安全に正しくご使用ください。

### ● 傍受にご注意ください。

本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとは言えません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。

### 傍受（ぼうじゅ）とは

無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

### ● 輸出の制限

お客様は、本装置及び付属品に関し、「外国為替及び外国貿易法」および関連法令ならびに「米国輸出管理法および同規則」（以下、関連法令等という。）を遵守するものとします。お客様は、関連法令等に基づき必要とされる日本政府または関係国政府等の許可を得ることなく、関連法令等で禁止されているいかなる仕向地、自然人若しくは法人

に対しても直接または間接的に本装置及び付属品を輸出、再輸出しないものとし、また第三者をして輸出させてはならないものとします。

## お取り扱いについて

- 本機の電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機は温度：-10℃～50℃、湿度：10%～90%の範囲でご使用ください。
- 極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- 使用中や充電中は本機や電池パックが温かくなることがありますが、異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。
- USB 接続端子または充電端子が汚れていると接触が悪くなり、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 本機のディスプレイを堅い物でこすったり、傷つけないようご注意ください。
- 無理な力がかからないようにお取り扱いください。故障やけがの原因となります。
  - ズボンやスカートのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり椅子などに座らないでください。特に厚い生地の衣服のときはご注意ください。
  - カバンなどに入れるときは、重たい物の下にならないように十分ご注意ください。
- 本機の銘板シールをはがさないでください。修理をお受けできないことがあります。
- 電池パックを取り外すときは、必ず本機の電源を切ってから取り外してください。ACアダプタを接続して充電しているときは、必ずACアダプタを取り外したあと、本機の電源を切ってから取り外してください。またデータの登録やメッセージの送信などの動作中に電池パックを取り外すと、データが消失・変化・破損することがあります。
- USB 接続端子または外部機器接続端子に指定品以外のものは、取り付けないでください。誤動作したり、破損することがあります。

- SDカードの使用中は本機の電源を切らないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げないでください。事故の原因となります。
- 本機を手に持って使用するときは、スピーカーをふさがないようにご注意ください。
- 本機のディスプレイ、および電源キー、PTTスイッチ、数字／文字入力キー（テンキー）などのキーを強く押し過ぎないでください。故障や破損の原因となります。
- 本機をポケットに入れている場合、アンテナやストラップが衣服や周りの物に引っかかり、落下する恐れがありますのでご注意ください。

## 技術基準適合証明について

本機は、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合しています。電池パックを外すと確認できる銘板シールに技術基準適合証明に関する情報（技適マーク（㊿等））が表示されています。

## Bluetooth<sup>®</sup>機能について

Bluetooth<sup>®</sup>機能の利用時に、データや情報の漏洩により発生した損害につきましては、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## 使用上の注意事項

本機のBluetooth<sup>®</sup>機能の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

- 1 Bluetooth<sup>®</sup>機能を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「他の無線局」が運用されていないことを目視で確認してください。
- 2 万一、Bluetooth<sup>®</sup>機能の使用にあたり、本機と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Bluetooth<sup>®</sup>機能の使用を停止（電波の発射を停止）してください。
- 3 その他不明な点やお困りのことが起きたときには、お買い上げの販売代理店へお問い合わせください。

## ■ 周波数帯について

この無線機器は、2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。

移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

## タッチパネルについて

- 誤動作の原因となりますので、次の点にご注意ください。
  - 強く押し過ぎないでください。
  - 市販のシールなどをタッチパネルの上に貼らないでください。
- タッチパネルが意図したとおりに操作できないときは、次の操作で「タッチパネル補正」を行うと改善できる場合があります。  
ホーム画面で  (Menu) を長押し → 「本体設定」 → 「ディスプレイ設定」 → 「タッチパネル補正」

## 防水／防塵性能について

正しくお使いいただくために、「防水／防塵性能に関する注意事項」の内容をお読みのうえ、正しくご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

### 本機の防水／防塵

本機は、電池カバーとUSB接続端子キャップを取り付け、外部機器接続端子カバーをしっかりと閉じた状態で、IPX5（旧JIS保護等級5）相当<sup>※1</sup>の防水性能およびIP6X（JIS保護等級6）相当<sup>※2</sup>の防塵性能を有しております（当社試験方法による）。

※1 IPX5（旧JIS保護等級5）相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、IP無線機としての性能を保つことを意味します。

※2 IP6X（JIS保護等級6）相当とは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置にIP無線機を8時間入れてかかはんさせ、取り出したときにIP無線機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

- 実際のご使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

### ご使用にあたっての重要事項

- 砂浜などの上に直接置かないでください。送話口・受話口・スピーカー、USB接続端子、外部機器接続端子などに砂などが入り音が小さくなったり、本機内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。
- 電池カバー、およびUSB接続端子キャップ、外部機器接続端子カバーが浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付けてください。
- 電池カバー、およびUSB接続端子キャップ、外部機器接続端子カバーと本機の間には微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1個、微細な繊維など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- USB接続端子部、外部機器接続端子部が濡れていたり、砂やほこりが付着した状態で使用しないでください。
- 水中で本機を使用（キー操作を含む）しないでください。
- お風呂場、台所など、湿気の多い場所には長時間放置しないでください。本機は防湿仕様ではありません。
- 本機の防水性能は、常温の真水・水道水にのみ対応しています。次の例のような液体をかけたり、浸けたり、過度な水流をかけたりしないでください。また、砂や泥なども付着させないでください。  
例：せっけん・洗剤・入浴剤などの入った水／海水／プールの水／温泉／熱湯／薬品／汗

## 利用シーン別注意事項

### ■ 雨の中で

- 雨の中、傘をささずに濡れた手で持って通話できます（やや強い雨（1時間の雨量が20mm未満）まで）。
- 雨がかかっている最中、本機に水滴がついているとき、または手が濡れている状態でのUSB接続端子キャップの開閉、外部機器接続端子カバーの取り付け／取り外しは絶対に行わないでください。

### ■ お風呂場で

- お風呂で使用できます。濡れた手で持って通話できますが、湯船には浸けないでください。
- 温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。
- 水中で使用しないでください。故障の原因になります。
- 急激な温度変化は、結露の原因となります。寒いところから暖かいお風呂などに本機を持ち込むときは、本機が常温になってから持ち込んでください。
- お風呂場での長時間のご使用はおやめください。
- 浴槽に浸けたり、落下させたりしないでください。
- 高温のお湯をかけないでください。耐熱設計ではありません。
- 耐水圧設計ではありませんので、蛇口やシャワーなどで高い水圧をかけないでください。

### ■ キッチンで

- せっけん、洗剤、調味料、ジュースなど水道水以外のものを、かけたり浸けたりしないでください。
- 高温のお湯や冷水に浸けたり、かけたりしないでください。耐熱設計ではありません。
- 強い流水（6リットル／分を超える）をかけないでください。
- コンロのそばや冷蔵庫の中など、極端に高温・低温になる場所に置かないでください。

### ■ プールサイドで

- プールの水に浸けたり、落下させたりしないでください。
- 水中で使用しないでください。故障の原因となります。
- プールの水がかかった場合は、やや弱めの水流（6リットル／分以下、常温の水道水）で洗い流してください。洗うときはUSB接続端子キャップおよび外部機器接続端子カバーが開かないように押えたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- 炎天下や高温になる場所で使用・放置しないでください。
- USB接続端子キャップおよび外部機器接続端子カバーをしっかりと閉じた状態で防水性能を保ちます。

## 洗う

- せっけん、洗剤など水道水以外のものを、かけたり浸けたりしないでください。
- やや弱めの水流（6リットル／分以下、常温の水道水）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で洗えますが、耐水圧設計ではありませんので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗うときは USB 接続端子キャップおよび外部機器接続端子カバーが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。

## 防水／防塵性能を維持するために

### 電池カバーについて

- 電池カバーの着脱を繰り返すと、防水性能が弱くなる可能性があります。
- 電池カバーが確実に取り付けられていない場合には、防水性能が弱くなる可能性があります。

### ゴムパッキンについて

電池カバーのゴムパッキンは、防水／防塵性能を維持するための重要な部品です。次のことにご注意ください。

- はがしたり、傷つけたりしないでください。
- 電池カバーを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないように注意してください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水／防塵性能が維持できなくなる場合があります。

- 常温の真水・水道水以外の液体（温水や海水、洗剤、薬品、汗など）が付着すると、防水／防塵性能を維持できなくなる場合があります。
- 電池カバーの開閉などをするときには手袋などをしたまま操作しないでください。また、ゴミなどが付着しないようにしてください。ゴムパッキンの接触面は微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1個、微細な繊維など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。微細なゴミが付着している場合は、乾いた清潔な布でふき取って必ず取り除いてください。
- 電池カバーの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つく恐れがあり、浸水の原因となります。

### 海水／洗剤／砂／泥などが付着した場合

万一水以外（海水／洗剤／砂／泥など）が付着してしまった場合、ただちに水で洗い流してください。

- やや弱めの水流（6リットル／分以下、常温の水道水）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温の水道水で洗えます。
- 洗うときは USB 接続端子キャップおよび外部機器接続端子カバーが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。

## ■ 水で濡れたあとは

- 水で濡れたあとは、水抜きをし、乾いた清潔な布で本機の水 droplet をふき取ってください。
- ※ USB 接続端子部がショートする恐れがありますので水滴が付着したまま放置しないでください。
- ※ 外部機器接続端子に水滴が付着したまま使用しないでください。
- ※ 寒冷地では本機に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因になります。水滴が付着したまま放置しないでください。
- 本機に水滴が付着したまま放置しないでください。キー部分は水分が入り込む構造になっていますが、入り込んだ水分は本機を振るなどして払い落としてください（この場合、周囲に注意し、本機を振り落とさないよう十分ご注意ください）。残った水分は乾いた清潔な布で速やかにふき取ってください。
- 本機に水や雪がついた場合は、清潔な乾いた布でふき取ってください。ふき取れなかった水や隙間にたまった水で服やバッグを濡らす場合がありますのでご注意ください。
- 外部機器接続端子は、十分に乾燥したことを確認のうえで使用してください。水滴が残ったままの状態で使用すると、故障の原因となります。

## ■ 水抜きについて

本機に水滴が付着したままご使用になると、スピーカーなどの音量が小さくなったり、衣服やカバンなどを濡らしてしまうことがあります。また、キー部分などの隙間から水分が入り込んでいる場合がありますので、次の手順で本機の水分を取り除いてください。

- 1 本機表面の水分を乾いた布などでよくふき取る**
- 2 本機をしっかりと持ち、少なくとも20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る（両面とも同じように振る）**  
本機を振り落とさないように、しっかり握ってください。
- 3 乾いた布などに本機を軽く押し当て、送話口・受話口・スピーカー・キーなどの隙間に入った水分をふき取る**
- 4 乾いたタオル・布などを下に敷き、常温で放置する（30分程度）**

• 上記手順を行ったあとも、本機に水分が残っている場合があります。濡れて困るものそばには置かないでください。また、衣服やカバンなどを濡らしてしまう恐れがありますのでご注意ください。

## 充電に関する注意事項

ACアダプタは防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、次の点を確認してください。

- 濡れたまま本機を充電しないでください。水に濡れたあとに充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水をふき取ってから、USB接続端子キャップを開いてください。
- USB接続端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。
- 本機が濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプタは、水のかからない状態で使用してください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプタは、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災・感電の原因となります。

# 知的財産権について

## 著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本機を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切にご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等を行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

## 登録商標について

- SoftBankおよびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、三菱電機株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。



- microSD, microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnn IMEを使用しています。  
iWnn IME©OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2012 All Rights Reserved.

**iWnn IME**

# IP無線機の比吸収率 (SAR) について

この機種【301SJ】IP無線機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準<sup>※1</sup>は、人体の近くで使用される携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) について、これが2W/kg<sup>※2</sup>の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

このIP無線機【301SJ】の側頭部におけるSARの最大値は0.577W/kg、身体に装着した場合のSARの最大値は0.356W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、IP無線機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、IP無線機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

## ■ 頭部以外の位置でご使用になる場合

このIP無線機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用になるなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属 (部分) が含まれないようにすることで、このIP無線機は電波防護の国際ガイドラインに適合します<sup>※3</sup>。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

### ● 総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

### ● 一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>

※1 技術基準については、電波法関連省令 (無線設備規則第14条の2) で規定されています。

※2 平成9年に (旧) 郵政省電気通信技術審議会により答申された「電波防護指針」に規定されています。

※3 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法は、平成22年3月に制定された国際規格 (IEC62209-2) 及び国の技術基準 (平成26年4月1日施行) にもとづきます。



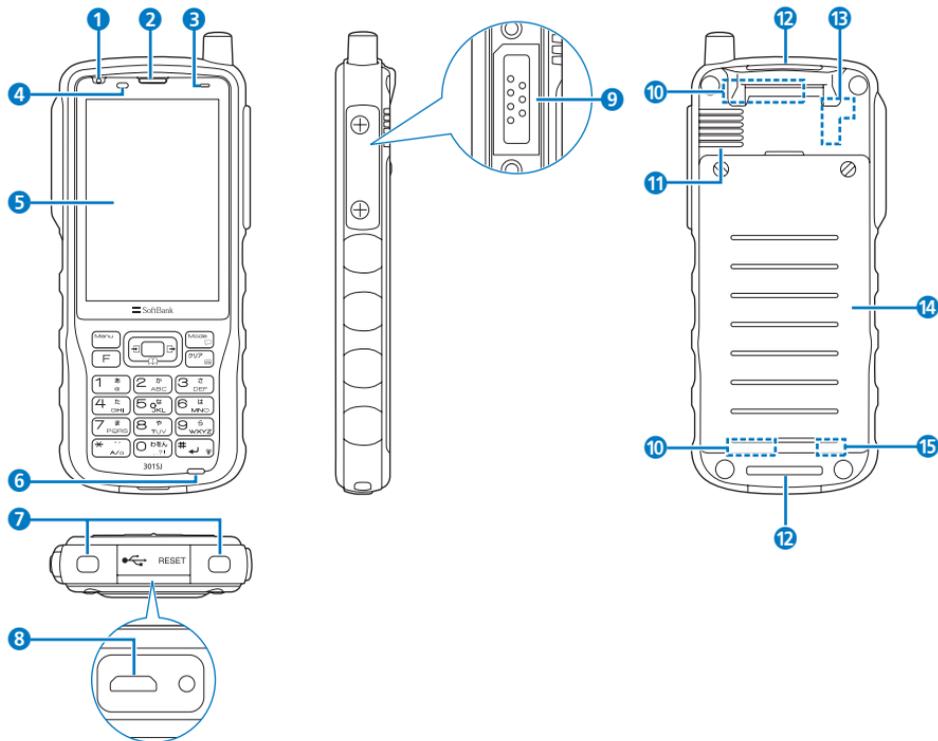
# 1 ご利用にあたって

---

各部の名称とはたらき .....	2
USIMカードについて .....	5
SDカードについて .....	7
電池パックを取り付ける／取り外す .....	9
充電する.....	11
電源を入れる／切る .....	12
タッチパネルの使いかた.....	12

# 各部の名称とはたらき

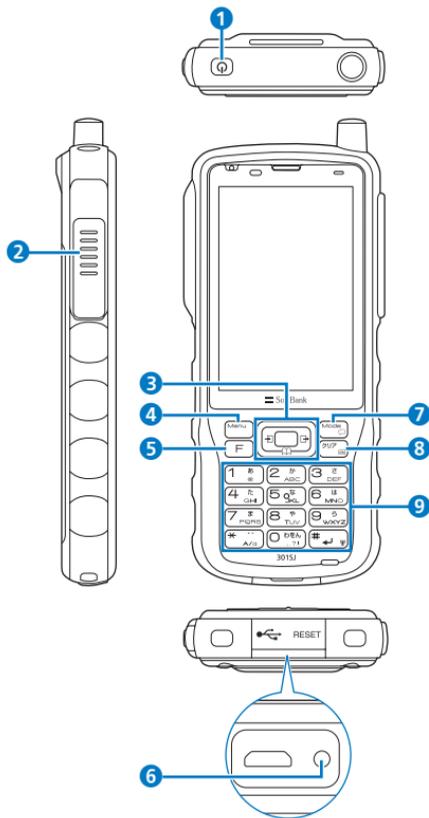
## 本体について



- ① 送話口（上マイク）
  - 自分の声を相手に伝えます。マイクテストの録音にも使用します。トランシーバーのように使用する場合は送話口となります。
- ② 受話口
  - 通話相手の声が聞こえます（2015年10月現在、動作していません）。
- ③ 充電／通知LED
  - 着信や受信などの状態を点滅して通知します。充電中は赤く点灯します。充電が完了すると、緑で点灯します。
- ④ 明るさセンサー
  - 周囲の明るさを検知するためのセンサーです。
- ⑤ ディスプレイ
  - 本機のディスプレイはタッチパネル（感圧式）です。
- ⑥ 送話口（下マイク）
  - 自分の声を相手に伝えます。マイクテストの録音にも使用します。
- ⑦ 充電端子
  - 本機に対応した卓上ホルダを使って充電します。
- ⑧ USB接続端子
  - ACアダプタやmicroUSBケーブルを接続します。
- ⑨ 外部機器接続端子
  - 本機に対応した外部機器を取り付けます。
- ⑩ 内蔵アンテナ※
  - 通話や通信用のアンテナが内蔵されています。
- ⑪ スピーカー（背面）
  - 通話相手の声が聞こえます。
- ⑫ ストラップベルトホール
  - ストラップベルトを取り付けます。
- ⑬ GPSアンテナ※
  - GPS 機能を利用するためのアンテナが内蔵されています。
- ⑭ 電池カバー
  - 電池カバーを開けて、電池パックやUSIMカード、SDカードの取り付け／取り外しを行います。
- ⑮ Bluetooth®アンテナ※
  - Bluetooth®機能を利用するためのアンテナが内蔵されています。

※ アンテナは内蔵されています。アンテナ部付近を手でおおくと通話／通信品質に影響を及ぼす場合があります。

## キーについて



- ① 電源キー
  - 長押しして電源を入れます。電源が入っているときに押すとスリープモードへの移行／解除(→P.21)、長押しすると電源OFF画面を表示します。
- ② PTTスイッチ
  - 通話の発着信に使用します。発話時に長押ししている間は音声を送信されます。
  - 個別呼出、指令局呼出以外の着信に応答してから、発信者との個別通話に切り替えることができます(→P.37)。
- ③ 方向／決定キー
  - メニューなどの項目の選択／決定に使用します。
  -  ホーム画面で状態変更画面を表示します。また、長押しすると状態表示が「登録解除」になります。
  -  ホーム画面で番号帳画面を表示します。また、長押しすると「待受表示設定」(→P.68)で設定されている条件に合った発着信情報が入力された番号登録・編集画面が表示されます。
  -  ホーム画面で着信履歴画面を表示します。また、長押しすると最新の着信履歴の呼出モード(通話モード)と番号が表示されます。
  -  ホーム画面で発信履歴画面を表示します。また、長押しすると最新の発信履歴の呼出モード(通話モード)と番号が表示されます。
  -  キー名称表示部の操作に使用します(→P.27)。また、外部機器接続中にホーム画面／通話中画面で長押しすると、本体のスピーカーのON／OFFを切り替えることができます。

- 4  Menuキー
- ホーム画面で機能メニューを表示します。また、長押しすると設定画面を表示できます。
  - キー名称表示部の操作に使用します (→P.27)。
- 5  Fボタン
- 操作中、または操作後の各画面からホーム画面に戻ります (文字入力画面表示中、オールリセット画面や本体設定の一部設定画面表示中は除く)。
  - ホーム画面で長押しすると、 およびPTT スイッチ以外のキー操作を無効にできます。(操作制限モード)
  - 不在着信があるときは、不在着信画面を表示します。
  - 「個別呼出」「指令局呼出」以外の着信に応答してから、発信者との個別通話に切り替えることができます (→P.37)。
  - 発信側の場合は、通話を終了できます。
  - 個別通話中の場合は、「終話設定」(→P.65)を「発信側、着信側から終話可能」に設定していると着信側から通話を終了できます。
- 6 リセットボタン
- 電源が入っているときに押すと、本機を工場出荷状態に戻します。
- 7  Modeキー
- 呼出モード (通話モード) を切り替えます。
  - キー名称表示部の操作に使用します (→P.27)。
  - 発信側の場合は、通話を終了できます。
  - 個別通話中の場合は、「終話設定」(→P.65)を「発信側、着信側から終話可能」に設定していると着信側から通話を終了できます。

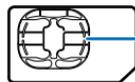
- 8  クリアキー
- 入力した文字や数字を消去します。
  - メニュー選択などの操作時に押すと、1段階前の画面に戻ります。
  - 長押しすると録音一覧画面を表示します。
- 9 数字/文字入力キー (テンキー)
- 数字や文字を入力します。
  - 数字キーを長押しすると、登録されているショートカットが起動します。 を長押しするとショートカット一覧が表示されます。
  -  を長押しするとマナーモードに設定されます。

## USIMカードについて

USIMカードは、お客様の電話番号が登録されているICカードです。

### USIMカードのお取り扱い

- 他社製品のICカードリーダーなどにUSIMカードを挿入し故障した場合は、お客様ご自身の責任となり当社は責任を負いかねますのであらかじめご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。



IC 部分

- お手入れは乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- USIMカードにラベルなどを貼り付けしないでください。故障の原因となります。

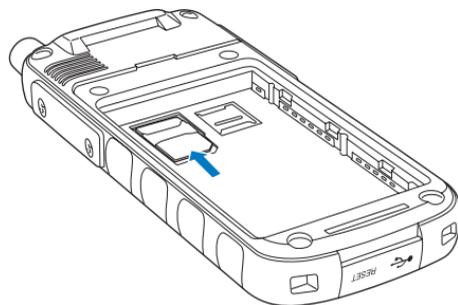
- USIMカードのお取り扱いについては、USIMカードに付属している説明書を参照してください。
- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 紛失・破損によるUSIMカードの再発行は有償となります。
- 解約などの際は、当社にご返却ください。
- お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされます。
- USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。
- USIMカードやIP無線機（USIMカード挿入済み）を盗難・紛失された場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。詳しくは、お買い上げの販売代理店までご連絡ください。
- USIMカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- 本機は専用USIMカードが必要です。本機の専用USIMカードは、他の携帯電話機では使用できません。

## USIMカードを取り付ける

必ず電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください。

### 1 電池カバー／電池パックを取り外す（→P.10）

## 2 USIMカードのIC部分の面を下にして、USIMスロットに矢印の方向にUSIMカードを差し込む



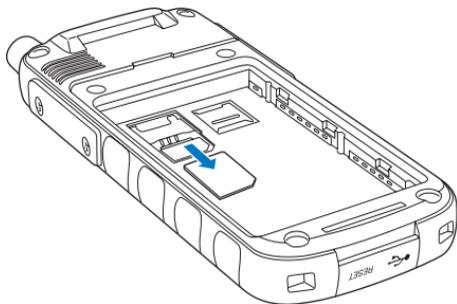
## 3 電池カバー／電池パックを取り付ける（→P.9）

### USIMカードを取り外す

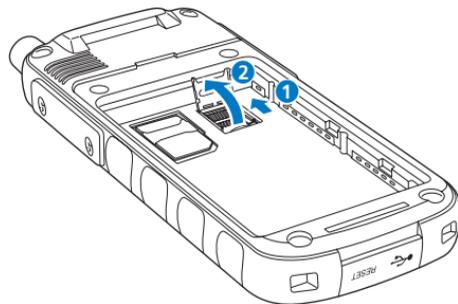
必ず電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください。

### 1 電池カバー／電池パックを取り外す（→P.10）

- 2 USIMスロットから、矢印の方向にUSIMカードを引き抜いて取り出す



- 2 SDカードスロットカバーを少し上に押しつけてロックを外し (①)、上に持ち上げて開く (②)



- 3 電池カバー／電池パックを取り付ける (→P.9)

## SDカードについて

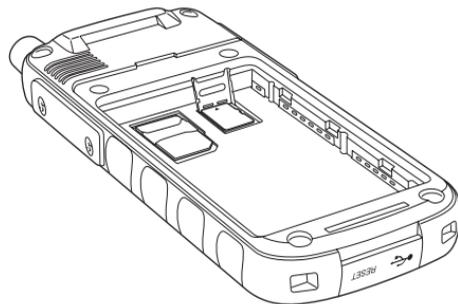
本機は最大32GBまでのSDカードに対応しています。ただし、すべてのSDカードの動作を保証するものではありません。

## SDカードを取り付ける

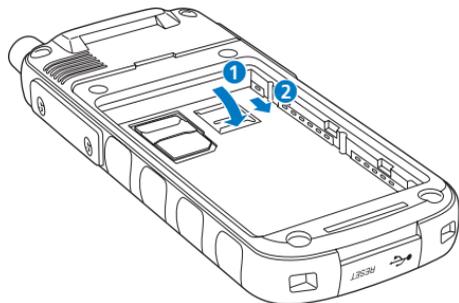
必ず電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください。

- 1 電池カバー／電池パックを取り外す (→P.10)

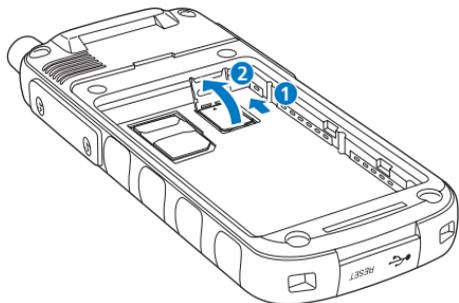
- 3 SDカードの金属端子面を下にして、SDカードスロットに取り付ける



- 4 SDカードスロットカバーを閉じ (1)、少し下に引いてロックする (2)



- 2 SDカードスロットカバーを少し上に押ししてロックを外し (1)、上に持ち上げて開く (2)



- 5 電池カバー／電池パックを取り付ける (→P.9)

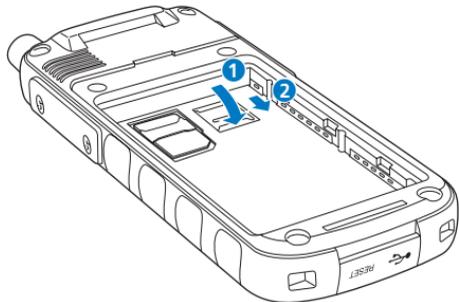
### SDカードを取り外す

必ず電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください。

- 1 電池カバー／電池パックを取り外す (→P.10)

- 3 SDカードスロットからSDカードを取り外す

- 4 SDカードスロットカバーを閉じ (1)、少し下に引いてロックする (2)



- 5 電池カバー／電池パックを取り付ける (→P.9)

## 電池パックを取り付ける／取り外す

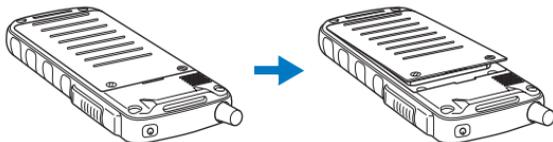
必ず電源を切った状態で行ってください。

### 電池パックを取り付ける

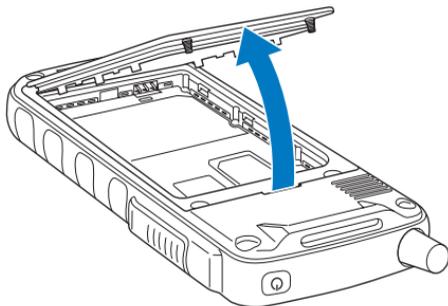
#### 1 マイナスドライバーでネジを緩めて本体側から外す

ネジが緩むと、電池カバーが少し開きます。

- ネジは電池カバーから外れないようになっています。

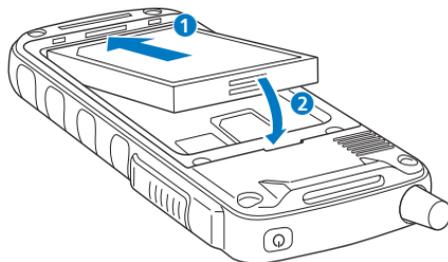


#### 2 本体側の溝に指先を入れ、電池カバーを上に向けて取り外す



#### 3 電池パックのリサイクルマークの印字面を上にして、電池パック下部の溝と本体の凸部、および端子の位置を合わせて①の方向に押し付けながら、②の方向に押し込んで取り付ける

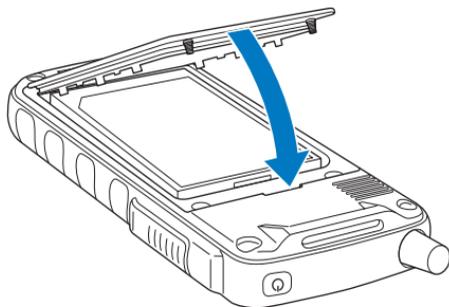
- 溝の大きさは左右で異なります。正しく組み合わせないと電池パックがうまく取り付けられませんので、ご注意ください。



#### 4 301SJ本体底面のUSB接続端子キャップを、①の方向に少し引いた後、②の方向に開く



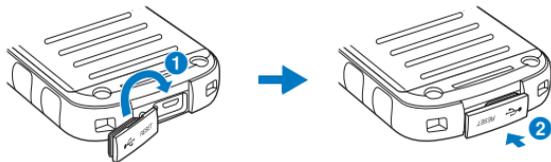
**5 電池カバーの凸部と本体下部の溝を合わせて、電池カバーを閉じる**



**6 マイナスドライバーでネジを締める**

- 防水／防塵性能を維持するために、浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付けてください。

**7 手順4と逆の操作でUSB接続端子キャップを閉じ、本体に押し込む**

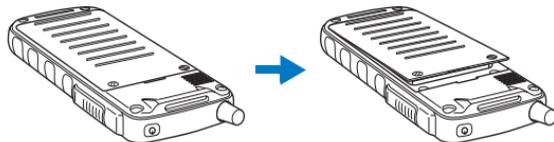


**電池パックを取り外す**

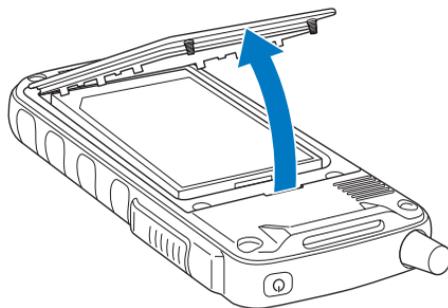
**1 マイナスドライバーでネジを緩めて本体側から外す**

ネジが緩むと、電池カバーが少し開きます。

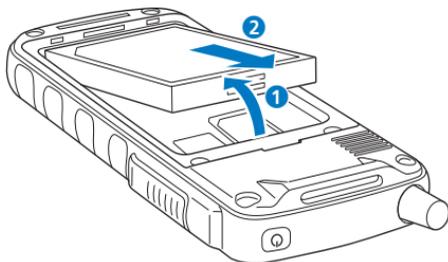
- ネジは電池カバーから外れないようになっています。



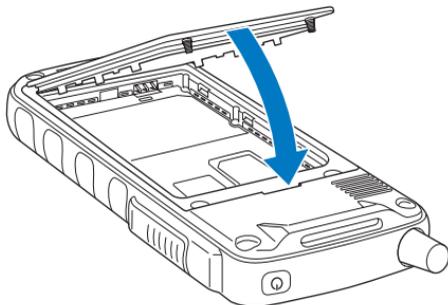
**2 本体側の溝に指先を入れ、電池カバーを上を開いて取り外す**



### 3 電池パック上部の凸部に指をかけて持ち上げ (1)、(2)の方向に引いて取り外す



### 4 電池カバーの凸部と本体下部の溝を合わせて、 電池カバーを閉じる



### 5 マイナスドライバーでネジを締める

- 防水／防塵性能を維持するために、浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付けてください。

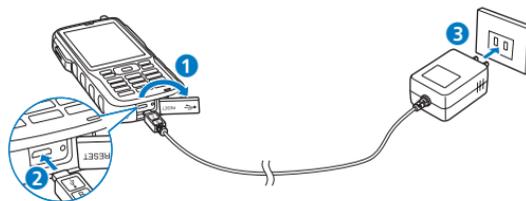
## 充電する

- 電池パックは、必ず本機に取り付けた状態で充電してください。
- 付属のACアダプタは、防水対応していません。本機が濡れているときは、絶対に充電しないでください。感電や回路のショートなどによる火災・故障・やけどの原因となります。

### ACアダプタで充電する

- 1 本機のUSB接続端子キャップを開き (1)、ACアダプタのmicroUSBプラグのUSBマークの刻印面を上にして、水平に差し込む (2)
- 2 ACアダプタの電源プラグを家庭用ACコンセントに差し込む (3)

充電が開始されます。充電中は、充電／通知LEDが赤く点灯します。



充電が完了すると、充電／通知LEDが緑で点灯します。

充電が完了したら、ACコンセントからACアダプタの電源プラグを抜き、本機のUSB接続端子からACアダプタのmicroUSBプラグを水平に抜いてください。

## 電源を入れる／切る

- 電池残量が少ないと、電源を入れられません。十分に充電するか、充電しながら操作してください。

### 電源を入れる

#### 1 ㊦を長押し

電源が入ると、ホーム画面が表示されます。

- 電池残量が5%未満の場合は充電を促すメッセージが表示されます。メッセージ表示中に充電を開始した場合は起動を続けますが、充電を開始しない場合は電源を切り起動しません。
- 「画面のロック設定」(→P.22)を設定している場合は、ロック解除画面(パスワードまたはパスコードの入力画面)が表示されます。

### 電源を切る

#### 1 ㊦を長押し→「電源を切る」→「はい」

電源が切れます。

- ㊦を10秒以上押し続けても、電源を切ることができません。

### 再起動する

#### 1 ㊦を長押し→「再起動」→「はい」

再起動します。

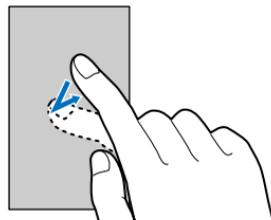
### タッチパネルの使いかた

本機のディスプレイは、タッチパネル(感圧式)になっており、指などでディスプレイに直接触れて操作することもできます。

- 「画面タッチ設定」(→P.71)で「タッチ操作無効」以外に設定している場合に有効です。

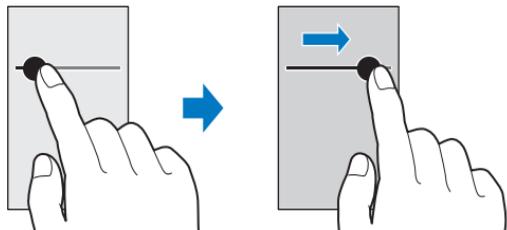
### タップ

画面に触れて、すぐに指などを離します。



## ドラッグ

スライダーなどの対象物に触れたまま目的の位置までなぞって移動させ、指などを離します。





## 2 基礎知識／基本操作

---

主な機能.....	16
基本的な操作のしくみ .....	16
無線機情報について .....	18
文字入力について .....	18
マナーモード／電波OFFモードについて .....	21
画面ロックについて .....	21
ソフトウェアの更新について.....	24

## 主な機能

本機は、SoftBank 3Gのネットワークを利用して、あらかじめグループとして設定されている他のIP無線機と日本国内で次のような通話や通信、機能が利用できるIP無線機です。

- 一斉通話やグループ通話、個別通話など様々な方法の通話ができます。
- 番号帳や通話履歴から個別番号を選択して、メッセージを送信できます。
- 本機で設定した状態内容、GPS情報を使用して、301SJの動態情報を把握することができます（オプションサービス）。

### 指令局と移動局について

同一グループ内のIP無線機の管理用として、任意の301SJを「指令局」に設定することができ、指令局以外のIP無線機を「移動局」と呼びます。

- 一斉呼出、グループ呼出された場合、1つの指令局が必ず含まれます。
- 指令局ではメッセージの送受信を行えません。
- 指令局ではGPS情報を取得することはできません。
- 指令局ではRED ALERTを使用できません。

## 基本的な操作のしくみ

- 販売代理店にて、変更できないように設定している項目は表示されなかったり、操作できない場合があります。

### ホーム画面

本機の主な操作は「ホーム画面」から行います。



### 項目移動と画面移動

項目やアイコン、画面のキーなどを  で選択して （決定）を押すか、または画面の該当箇所をタップして、該当する操作の画面に移動します。

- 1つ前の画面に戻るときは  を押します。

## メニュー操作

キー名称表示部に「Menu」／「☰」が表示されているときは、を押すと、その画面で利用できる機能の設定や項目が表示されます。



## 画面設定と設定操作

ホーム画面でを長押しすると、本機の各機能のはたらきをカスタマイズできます。



- 設定項目には、チェックボックス ( / ) やラジオボタン ( / ) が付いたものがあります。チェックボックスはで選択して (決定) を押すか、またはタップするたびに有効 () / 無効 () が切り替わります。ラジオボタンの項目は、通常、複数の選択項目から1つのみ選択できます。



## 無線機情報について

### 自分の無線機情報を確認する

IP無線機で通話やメッセージを送信する場合は、電話番号の代わりに無線機に割り当てられた番号を入力します。個別呼出に使用する自分の無線機個別番号などの情報を確認するときは、次の操作手順を行います。

- 1 ホーム画面で **Menu** を長押し → 「接続設定」 → 「無線機情報（接続設定）」



接続設定画面

### お知らせ

- 販売代理店にて、変更できないように設定されている項目は表示されません。

## 文字入力について

本機の数字／文字入力キー（テンキー）を使って、ひらがな、漢字、カタカナ、英数字、記号を入力できます。

- 文字入力の変換候補が表示されている状態では、タッチ操作は無効になります。変換候補の確認や選択はキー操作で行います。

### 数字／文字入力キー（テンキー）の文字割り当て一覧

キー	ひらがな	英字	数字
1 1	あいうえお あいうえお	._@-_/:'1	1
2 2	かきくけこ	abcABC2	2
3 3	さしすせそ	defDEF3	3
4 4	たちつとっ	ghiGHI4	4
5 5	なにぬねの	kljIJKL5	5
6 6	はひふへほ	mnoMNO6	6
7 7	まみむめも	pqrPQRS7	7
8 8	やゆよやゆよ	tuvTUV8	8
9 9	らりるれろ	wxyzWXYZ9	9
0 0	わをんわー～、。 *!? (全角スペース)	0-..!?!; (半角スペース)	0

キー	ひらがな	英字	数字
	＊ (大文字小文字切り替え※ <sup>1</sup> )	(大文字小文字切り替え※ <sup>1</sup> ) (変換候補エリア領域拡大／縮小※ <sup>2</sup> )	*
	(改行)	(変換候補確定※ <sup>2</sup> )	#

※1 文字入力中に有効です。

※2 変換候補選択エリアにカーソル移動時に有効です。

## 文字を入力する

「鈴木」と入力する方法を例に説明します。

### 1 文字入力画面で「すすき」と入力

「す」:  (3回)

「ず」:  ※<sup>1</sup> →  (3回) →  (1回)

「き」:  (2回)

※1 一定時間が経過すると、カーソルが自動的に右に移動します。その場合、 を押す操作は必要ありません。

入力した文字に従って、変換候補が表示されます。



## 2 変換候補から「鈴木」を選択



## 文字種を切り替える

### 1 文字入力画面で を押す

-  を押すたびに、日本語→半角英字→半角数字の順に切り替わります。切り替わった文字種は画面右下にアイコン ( →  → ) で表示されます。

## 記号／顔文字を入力する

### 1 文字入力画面で を押す

-  を押すたびに、記号→顔文字の順に切り替わります。

### 2 → で入力文字を選択 →

- 記号／顔文字選択エリアにカーソルを移動後、 を押すとカテゴリが昇順に、 を押すとカテゴリが降順に切り替わります。

## 文字入力画面で使用できる機能

文字入力画面で  (≡) を押すと、次の機能を使用できます。

項目		説明
表示		変換候補の表示行数を設定します。
予測／ 変換	日本語候補学習	日本語入力時に、変換候補を学習するかどうかを設定します。
	日本語予測変換	日本語入力時に、予測変換を利用するかどうかを設定します。
	日本語ワイルドカード予測	日本語入力時に、ワイルドカード予測を利用するかどうかを設定します。
	候補学習	変換候補を学習するかどうかを設定します。
	予測変換	予測変換を利用するかどうかを設定します。
	ワイルドカード予測	ワイルドカード予測を利用するかどうかを設定します。
	自動スペース入力	半角英数字の変換時に、自動的にスペースを入力するかどうかを設定します。
	自動大文字変換	半角英字入力時に、文頭の文字を自動的に大文字にするかどうかを設定します。
辞書	日本語	よく使う単語を辞書として登録します。
	英語／その他	

項目		説明
その他	学習辞書リセット	辞書をリセットします。
	設定リセット	文字入力の設定をリセットします。
	iWnn IME	iWnn IMEのバージョンを表示します。

## マナーモード／電波OFFモードについて

着信やメッセージ受信の通知音などが鳴らないように設定できます（マナーモード）。

また、通話やメッセージの送受信など、電波を発する機能を無効に設定できます（電波OFFモード）。

### マナーモードに設定する

#### 1 を長押し

通知バーに  が表示されます。

- 同じ操作を繰り返すと、マナーモードを解除できます。
-  を長押し → 「マナーモード」 → 「はい」 を選択しても、マナーモードに設定できます。
- 「音・マイク設定」 (→P.70) で「マナーモード」にチェックを入れてもマナーモードに設定できます。

### 電波OFFモードに設定する

#### 1 を長押し → 「電波OFFモード」 → 「はい」

通知バーに  が表示されます。

- 同じ操作を繰り返すと、電波OFFモードを解除できます。
- ホーム画面で  を長押し → 「本体設定」 → 「電波OFFモード」 → 「電波OFFモード」にチェックを入れても、電波OFFモードに設定できます。

### お知らせ

- 電波OFFモードに設定すると、Bluetooth®機能が自動的に無効になります。

## 画面ロックについて

セキュリティのために、本機の画面をロックできます。画面ロックを設定すると、本機の電源を入れたときや、スリープモードを解除するときにパスコードまたはパスワードの入力が必要になります。

- スリープモードとは、一定時間、本機を操作しなかったときや電源キーを押したときにディスプレイのバックライトを消灯する機能です。スリープモードの設定については、「ディスプレイ設定」 (→P.71) をご参照ください。

### パスコード／パスワードについて

パスコードは数字4桁で設定します。

パスワードは英数字6桁～12桁で設定します。大文字と小文字も区別します。

### お知らせ

- パスコード／パスワードを忘れた場合は、お買い上げの販売代理店までお問い合わせください。

## 画面ロックを設定する

### 1 ホーム画面で を長押し → 「本体設定」 → 「画面のロック設定」

- パスコードまたはパスワードの確認画面が表示された場合は、パスコードまたはパスワードを入力します。

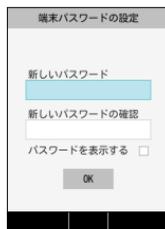


### 2 「パスコード」または「パスワード」

- 画面ロックを設定しない場合は、「なし」を選択します。



パスコード設定画面



パスワード設定画面

### 3 パスコードまたはパスワードを入力

- 「パスコードを表示する」または「パスワードを表示する」にチェックを入れると、入力したパスコードまたはパスワードが表示されます。
- **パスコードを入力する場合**  
新しいパスコードを入力 → 「OK」 → 再度新しいパスコードを入力 → 「OK」を選択します。
- **パスワードを入力する場合**  
新しいパスワードを入力 → 再度新しいパスワードを入力 → 「OK」を選択します。

## 画面をロックする

### 1 画面ロック設定中にホーム画面で

画面が消灯し、画面がロックされます。

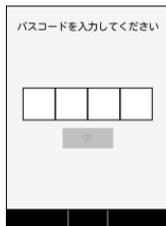
- 「ディスプレイ設定」の「スリープ移行時間設定」(→ P.71) で設定した時間、本機を操作しないとスリープモードに移行し、画面がロックされます。
- 画面ロックを設定していない場合でも、上記の操作でスリープモードに移行します。

## 画面ロックを解除する

### 1 画面ロック中に🔒または🔒

ロック解除画面が表示されます。

- 「画面のロック設定」(→ P.22) の設定によって、パスワードまたはパスワードの入力画面が表示されます。



ロック解除画面 (パスワード入力)

### 2 パスワードまたはパスワードを入力→「OK」

#### ！ ご注意

- 画面ロック未設定でスリープモードに移行した場合でも、上記の操作でスリープモードを解除できます。
- 画面ロック未設定で、スリープモードに移行する前の画面がホーム画面の場合、スリープモード中に PTT スイッチを押すと、スリープモードが解除され、ホーム画面に表示されている相手に発信します。

## ソフトウェアの更新について

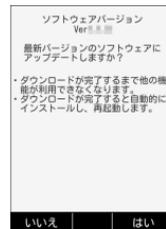
本機のソフトウェアバージョンを確認し、最新ではない場合は最新のソフトウェアに更新できます。

- 電池残量が 60%以上ある状態か、充電しながら行ってください。
- 電波状況のよいところで、移動せずに行ってください。
- ソフトウェアの更新中は、電源を切らないでください。途中で電源を切ると、故障の原因となります。
- ソフトウェアの更新が完了するまで、本機は使用できません。
- 本機の状況（故障・破損・水濡れなど）によっては、登録されているデータが破棄されることがあります。必要なデータは、ソフトウェアの更新前にバックアップしておくことをおすすめします。なお、データが消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## ソフトウェアを更新する

### 1 ホーム画面で を長押し → 「最新バージョンの確認」

ソフトウェアが最新ではない場合は、更新するかどうかを確認する画面が表示されます。



### 2 (はい) → 「OK」

ソフトウェアのダウンロードが開始され、続いてインストールが行われます。

### 3 画面の見かた

---

ホーム画面のしくみ .....	26
通知バーについて .....	27

## ホーム画面のしくみ

ホーム画面は、本機の操作の中心となる画面です。電源を入れた直後や[F]を押したときなどに表示されます。

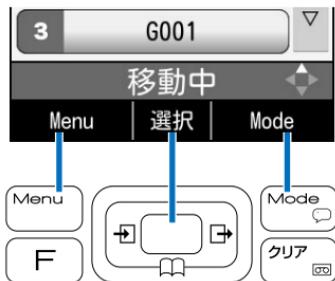
### ホーム画面の見かた



	名称	説明
1	通知バー	「通知バーについて」(→ P.27)
2	通話状態表示部	通信状況や GPS 情報の取得状況を色で通知します。 グレー：未接続 青：接続完了・GPS 情報取得時 オレンジ：接続完了・GPS 情報未取得時
3	待受表示部	直前の通話相手や未読メッセージの件数などを表示します。
4	ショートカット	ホーム画面から簡単な操作で通話相手や機能などを呼び出すことができます。
5	状態表示部	本機の利用者の現在の状態を設定されている項目から選択して表示し、自動的にサーバーに通知します(→ P.46)。
6	キー名称表示部	「キー名称表示部と対応するキーについて」(→ P.27)

## キー名称表示部と対応するキーについて

画面下部に表示されるキー名称表示部の操作を実行するには、それぞれの表示に対応する以下のキーを押します。



また、本書内では方向／決定キーの押す部分を以下の表で示します。

- 方向キーの上部を押す
- 方向キーの下部を押す
- 方向キーの左側を押す
- 方向キーの右側を押す
- 決定キーを押す

## 通知バーについて

### 通知バーの見かた

画面上部の通知バーには、本機の電池残量や電波の状況のほか、GPS情報取得中やマナーモード、Bluetooth®機能の使用状況を示すアイコンが表示されます。



## 主な通知アイコン

通知バーに表示されるアイコンには、次のようなものがあります。

アイコン	説明
	電波レベル
	圏外
	電波 OFF モード中
	操作制限モード中
	マナーモード中
	Bluetooth® 対応機器と接続中
	Bluetooth® 機能利用可能
	GPS 情報取得可能
	電池レベル
	充電中
	SD カード装着中
	RED ALERT 状態

## 4 通話／番号帳

---

通話／接続の設定をする.....	30
呼び出して通話する .....	30
通話履歴を確認する .....	34
着信に応答して通話する.....	36
番号帳を利用する .....	39
ショートカットを利用する.....	41
グループに登録する .....	42
通話を録音する .....	42
非常送信機能を使用する (RED ALERT) .....	43

## 通話／接続の設定をする

通話機能を利用する前に、通話に関する設定を行ってください。

- 「接続設定」(→P.64)
- 「呼出モード(通話モード)を設定する」(→P.69)

## 呼び出して通話する

本機の呼出モード(通話モード)は次のとおりです。

呼出モード (通話モード)	画面 表示	呼出音	説明
一斉呼出	一斉	ピー	相手の番号を指定せず、 発信可能な IP 無線機に 対して一斉発信します。
強制一斉呼出	強制 一斉	ピー	相手の番号を指定せず、 発信可能な IP 無線機に 対して一斉発信します。 相手が通話中でも、強制的 に割り込んで呼び出 します。
グループ呼出	G	ピロピ ロツ	グループ番号を指定し、 複数の相手に発信しま す。 発信相手には指令局も 含まれます。

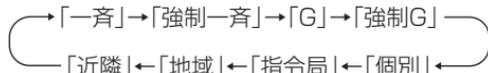
呼出モード (通話モード)	画面 表示	呼出音	説明
強制グループ 呼出	強制 G	ピロピ ロツ	グループ番号を指定し、 複数の相手に発信しま す。相手が通話中でも、 強制的に割り込んで呼 び出します。 発信相手には指令局も 含まれます。
個別呼出	個別	ピロツ	相手の番号を指定し、 発信します。
指令局呼出	指令局	プツ	指令局の番号を指定し、 発信します。
地域呼出 <sup>※1</sup>	地域	ピ・ロ	地域番号を指定し、その 地域にある IP 無線機に 対して発信します。 発信相手には指令局も 含まれます。 位置情報機能を有効に 設定している場合に利 用できます。
近隣呼出 <sup>※1</sup>	近隣	ピロピ	本機の周辺にある IP 無線 機に対して発信します。 発信相手には指令局も 含まれます。 位置情報機能を有効に 設定している場合に利 用できます。

※1 オプションサービスに加入する必要があります。

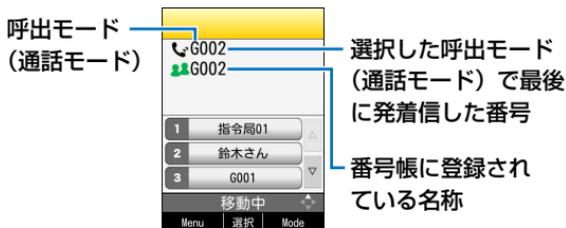
- 「呼出モード設定」(→ P.69) で選択している呼出モード(通話モード)のみ利用できます。
- 発信相手に指令局が含まれる呼出モード(通話モード)の場合、発信相手の指令局が通話中のときは次の番号の指令局に自動的に発信します(指令局転送機能(すべり機能))。ただし、ご契約時に「指令局の転送機能(すべり)」を「無」に設定されている場合は、指令局転送機能(すべり機能)は無効となります。
- 指令局は「近隣呼出」を利用できません。また、指令局が他の指令局に発信することはできません。

## 1 ホーム画面で (Mode)

-  (Mode) を押すたびに、呼出モード(通話モード)が次の順で切り替わります(「呼出モード設定」(→P.69)で選択している呼出モード(通話モード)のみ表示されます)。



- 「一斉」「強制一斉」「近隣」を選択した場合は、手順3に進みます。



## 2 番号を入力

- 「グループ呼出」「強制グループ呼出」の場合は3桁の番号、「個別呼出」の場合は4桁の番号、「指令局呼出」の場合は2桁の番号(01~15)、「地域呼出」の場合は2桁の番号(01~08)を入力します。



## 3 PTTスイッチを押す

接続が完了すると、通話中画面が表示されます。相手が応答(音声を送信)している間は応答中画面が表示されます。

- 「RBT利用設定」(→ P.65)を「発信時選択」に設定している場合は、RBT機能を利用して発信するかどうかを確認する画面が表示されます。「RBT呼出」または「通常呼出」を選択してください。
- 接続に失敗した場合は、ホーム画面に戻り、「通話×」と失敗した理由が表示されます。
  - 「呼出先通話中」：相手が通話中のとき
  - 「利用できない呼出モードです」：利用できない呼出モード(通話モード)で発信したとき
  - 「呼出先誤り」：相手の番号が正しくないとき
  - 「接続失敗」：7秒(RBT機能利用時は17秒)経過しても相手が応答しないとき



通話中画面



応答中画面

- 1 呼出モード（通話モード）  
「一斉呼出」「強制一斉呼出」「近隣呼出」以外は、右側に番号が表示されます。
- 2 発信アイコン  
☎️：RBT機能を利用していない発信  
☎️📞：RBT機能を利用した発信
- 3 呼出モード（通話モード）アイコン  
番号帳に登録されている場合は、登録されているカテゴリの色で表示されます。
- 4 番号帳に登録されている名称
- 5 通話者情報  
「個別呼出」「指令局呼出」以外は、応答している相手の情報が表示されます。
- 6 通話時間  
「通話時間表示設定」（→P.71）で設定した内容が表示されます。

## ■ 音声を送信（発信）する場合

PTTスイッチを押しながら話します。PTTスイッチを押し続けている間、音声が発信されます。

- PTT スイッチを押して、一呼吸おいてから話し始めてください。



## 4 通話を終了する場合は、（終話）

-  を押しでも通話を終了できます。

## お知らせ

- 通話時間は最大5分です。5分以上経過すると、自動的に切断されます。切断される約10秒前に通知音でお知らせします。
- 無通話状態が続いた場合、「無通話タイムアウト設定」（→P.64）で設定した時間が経過すると、自動的に切断されます。
- RBT機能（→P.65）を利用して発信した場合、相手が応答しないまま約17秒が経過すると、発信は切断されます。
- 「通話時間表示設定」（→P.71）で通話中画面に通話時間を表示するかどうかを設定できます。表示される通話時間は誤差が生じる場合があります。
- 「圏外時、切断ON/OFF設定」（→P.71）の設定によっては、通話中に電波状態が悪くなったとき、通話が切断される場合があります。

- 相手が着信する前に発信を切断した場合も、発信履歴が残ります。また、相手の着信履歴にも残ることがあります。
- 「未所属グループ 発信抑止設定」(→P.72) で本機が登録されていないグループへ発信できないように設定できます(「地域呼出」「近隣呼出」を除く)。

## 通話履歴から呼び出す

- 通話履歴については、「通話履歴を確認する」(→P.34) をご参照ください。

### 1 ホーム画面で (発信履歴) または (着信履歴)



### 2 発信する履歴にカーソルを移動→PTTスイッチを押す

- 履歴を選択→PTTスイッチを押しても発信できます。

## お知らせ

- RBT 機能を利用した発信履歴や着信履歴から発信する場合でも、「RBT利用設定」(→P.65) の設定が優先されます。

## 番号帳から呼び出す

- 番号帳については、「番号帳を利用する」(→ P.39) をご参照ください。

### 1 ホーム画面で



### 2 発信する相手にカーソルを移動→PTTスイッチを押す

- 相手を選択→PTTスイッチを押しても発信できます。

## ショートカットから呼び出す

- ショートカットについては、「ショートカットを利用する」(→P.41)をご参照ください。

### 1 ホーム画面で (発信するショートカットの番号) を長押し→PTTスイッチを押す

- ホーム画面で発信するショートカットをタップ→PTTスイッチを押すか、ホーム画面で →発信するショートカットにカーソルを移動→PTTスイッチを押しても、発信できます。

## 通話履歴を確認する

本機に保存される発信履歴／着信履歴は、それぞれ最大100件です。

### 1 ホーム画面で (発信履歴) または (着信履歴)

- ホーム画面で (Menu) →「発信履歴」または「着信履歴」を選択しても、通話履歴を確認できます。



発信履歴画面



着信履歴画面

- 発信日時／着信日時
- 発信アイコン
  - ：RBT機能を利用していない発信
  - ：RBT機能を利用した発信
 接続に失敗した発信は、アイコンに **X** が付きます。
- 発信先情報
 

呼出モード（通話モード）と番号が表示されます。番号帳に登録されている場合は、登録されている名称が表示されます。

4 着信アイコン

-  : RBT機能を利用していない着信
-  : RBT機能を利用した着信
-  : RBT機能を利用していない着信（不在着信）
-  : RBT機能を利用した着信（不在着信）

5 発信元情報

呼出モード（通話モード）と番号が表示されます。番号帳に登録されている場合は、登録されている名称が表示されます。「個別呼出」「指令局呼出」以外は、右側に発信元の種別（「個別」または「指令局」）と番号が表示されます。

 **お知らせ**

- 発信履歴画面／着信履歴画面で履歴を選択すると、ホーム画面に選択した履歴の呼出モード（通話モード）と番号が表示され、PTTスイッチを押すと発信できます。

**発信履歴画面／着信履歴画面で使用できる機能**

発信履歴画面／着信履歴画面で  (  ) を押すと、次の機能を使用できます。

項目		説明
メッセージ作成 <sup>※1</sup>		選択した履歴の呼出モード（通話モード）が「個別」の場合、メッセージを作成します。
削除 <sup>※2</sup>	1 件削除	履歴を 1 件削除します。
	選択削除	履歴を複数選択して削除します。
	全件削除	履歴を全件削除します。
ショートカット登録 <sup>※3</sup>		選択した履歴をショートカットに登録します。

※1 「メッセージ送信設定」(→P.67) にチェックを入れている場合のみ、操作できます。

※2 「発信履歴 削除機能設定」(→P.75) を「利用する(削除可)」に設定している場合のみ、操作できます。

※3 「ショートカット機能設定」(→P.67) を「利用する(編集可)」に設定している場合のみ、操作できます。

## 着信に应答して通話する

- ここでは、RBT機能（→P.65）を利用した着信の場合を例に説明します。RBT機能を利用していない着信の場合は、本機が自動应答し、手順2の画面が表示されます。

### 1 着信

「個別呼出」「指令局呼出」「グループ呼出」「地域呼出」「近隣呼出」の場合はブブブッ、「一斉呼出」の場合はプーという通知音が鳴ります。



### 2 PTTスイッチを押す

- 「個別呼出」「指令局呼出」以外の場合は、着信したいすれかのIP無線機が应答操作を行うと通話中画面に切り替わります。



通話中画面

### 3 PTTスイッチを押しながら話す

PTTスイッチを押し続けている間、音声を送信されま

- す。PTTスイッチを押して、一呼吸おいてから話し始めてください。



## お知らせ

- 音声着信が可能な状態で、本機操作中に音声着信があると、操作は中断され着信状態となります。
- 通話時間は最大5分です。5分以上経過すると、自動的に切断されます。切断される約10秒前に通知音でお知らせします。
- 「終話設定」(→P.65)を「発信側、着信側から終話可能」に設定している場合は、 (終話) または  を押すと通話を終了できます。ただし、個別通話中のみ有効です。

## 着信を個別通話に切り替える

「個別呼出」「指令局呼出」以外の着信に回答してから、発信者との個別通話に切り替えることができます。

- 「F/PTT個別切替設定」(→P.65)を「Fボタンで個別切替」または「PTTスイッチで個別切替」に設定する必要があります。

### 1 通話中画面で またはPTTスイッチを押す

発信者との個別通話に切り替わります。通話時間はリセットされ、再びカウントが始まります。

- 通話中画面で  (個別切替) を押しても、個別通話に切り替わります。



## 通話から抜ける

「一斉呼出」「強制一斉呼出」「グループ呼出」「強制グループ呼出」での通話時に、その通話から抜けることができます。

- 「通話離脱設定」(→P.65)を「常時利用(常に離脱可)」または「強制以外利用(強制通話は離脱不可)」に設定する必要があります。

### 1 通話中画面で (離脱)

## お知らせ

- 発信者も通話から抜けることができます。その場合は、通話時間が5分以上経過するか、「無通話タイムアウト設定」(→P.64)で設定した時間だけ無通話状態が続いたときに通話が切断されます。

## 不在着信を確認する

着信に応答しない（PTTスイッチを押さない）まま着信／通話が切断された場合、通知LEDが点滅して通知音が鳴り、着信があったことをお知らせします（不在着信通知）。不在着信があったときは、ホーム画面ではなく不在着信画面が表示されます。

- 「不在着信利用設定」（→ P.65）を「指令局からの個別着信で利用」または「指令局・移動局からの個別着信で利用」に設定する必要があります。
- 「個別呼出」「指令局呼出」以外の着信は、不在着信として通知されません。

### 1 不在着信



### 2 確認する不在着信にカーソルを移動→Menu（1件確認）

選択した不在着信が確認済みとなり、不在着信画面から削除されます。

- すべての不在着信を確認済みにするには、Mode（全件確認）を押します。

### ■ 不在着信の相手に発信する場合

不在着信にカーソルを移動→PTTスイッチを押します。

### 👉 お知らせ

- すべての不在着信を確認するか発信するまで、不在着信画面が表示されます。ホーム画面を表示するには、不在着信画面でFを押します。
- 不在着信がある場合は、番号帳画面でデータを選択するか、番号帳詳細表示画面で▶（選択）を押しても、ホーム画面ではなく不在着信画面が表示されるため発信できません。不在着信がある場合の番号帳からの発信は、「番号帳から呼び出す」（→P.33）をご参照ください。

## 番号帳を利用する

- 「番号帳機能設定」(→P.67)を「利用する(編集可)」に設定している場合のみ、番号帳を登録／編集／削除できます。

## 番号帳に登録する

番号帳に登録できるデータは最大1,000件です。

### 1 ホーム画面で



### 2 Menu (≡) → 「新規登録」

### 3 各項目を入力→ (Mode) (登録)

## 番号帳を確認／編集する

### 1 ホーム画面で

/ : タブを左右に移動します。

- ホーム画面で (Menu) (Menu) → 「番号帳」を選択しても、番号帳画面が表示されます。



番号帳画面

### 2 確認／編集するデータにカーソルを移動→ (Mode) (表示)

- 検索ボックスにふりがなを入力すると、該当するデータのタブが表示されます。

番号帳詳細表示画面

### 3 (編集)

編集画面が表示されます。各項目を編集→ (登録)を押すと、編集した内容で上書き登録されます。

#### お知らせ

- 番号帳画面でデータを選択するか、番号帳詳細表示画面で  (選択) を押すと、ホーム画面に選択したデータの呼出モード (通話モード) と番号、名称が表示され、PTTスイッチを押すと発信できます。ただし、不在着信がある場合はホーム画面ではなく不在着信画面が表示されるため、本操作はできません。不在着信がある場合の番号帳からの発信は、「番号帳から呼び出す」 (→P.33) をご参照ください。

#### 番号帳画面で使用できる機能

番号帳画面で  (≡) を押すと、次の機能を使用できます。

項目	説明
表示	「番号帳を確認／編集する」 (→ P.39)
新規登録※ <sup>1</sup>	「番号帳に登録する」 (→ P.39)
編集※ <sup>1</sup>	「番号帳を確認／編集する」 (→ P.39)
メッセージ作成※ <sup>2</sup>	選択した番号帳データの呼出モード (通話モード) が「個別」の場合、メッセージを作成します。

項目		説明
削除※ <sup>1</sup>	1件削除	番号帳データを1件削除します。
	選択削除	番号帳データを複数選択して削除します。
	全件削除	番号帳データを全件削除します。
ショートカット登録※ <sup>3</sup>		選択した番号帳データをショートカットに登録します。
カテゴリ名称編集※ <sup>4</sup>		番号帳のカテゴリの色と名称を編集します。

※1「番号帳機能設定」 (→P.67) を「利用する (編集可)」に設定している場合のみ、操作できます。

※2「メッセージ送信設定」 (→P.67) にチェックを入れている場合のみ、操作できます。

※3「ショートカット機能設定」 (→P.67) を「利用する (編集可)」に設定している場合のみ、操作できます。

※4「カテゴリ名称機能設定」 (→P.67) を「利用する (編集可)」に設定している場合のみ、操作できます。

## ショートカットを利用する

通話相手や機能メニュー、設定項目をショートカットに登録することで、ホーム画面から簡単に呼び出すことができます。

- 「ショートカット機能設定」(→ P.67) を「利用する(編集可)」に設定している場合のみ、ショートカットを登録／削除できます。

## ショートカットを登録する

### 1 ホーム画面で を長押し

- ホーム画面で  (Menu) → 「ショートカット一覧」を選択しても、ショートカット一覧画面が表示されます。



ショートカット一覧画面

### 2 (≡) → 項目を選択

項目	説明
番号帳登録	ショートカットに登録する相手を番号帳から選択します。
発信先登録	ショートカットに登録する相手を入力します。
機能項目登録	ショートカットに登録する機能項目を選択します。
設定項目登録	ショートカットに登録する設定項目を選択します。

### 3 (登録)

#### お知らせ

- 通話履歴からもショートカットを登録できます (→ P.35)。

## ショートカット一覧画面で利用できる機能

ショートカット一覧画面で  (  ) を押しと、次の機能を使用できます。

項目	説明	
番号帳登録	「ショートカットを登録する」(→ P.41)	
発信先登録		
機能項目登録		
設定項目登録		
削除	1 件削除	ショートカットを 1 件削除します。
	選択削除	ショートカットを複数選択して削除します。
	全件削除	ショートカットを全件削除します。

### お知らせ

- ホーム画面でショートカットをロングタッチしても、ショートカットの登録や削除ができます。

## グループに登録する

- グループの確認や登録については、「グループ管理」(→ P.72) をご参照ください。

## 通話を録音する

着信応答した通話は、自動的に録音されます。本機に保存される録音データは、最大50件です。

- 録音されるのは、相手の音声のみです。

## 録音した通話を再生する

### 1 ホーム画面で を長押し

- ホーム画面で  (Menu) → 「録音再生」を選択しても、録音一覧画面が表示されます。



録音一覧画面

## 2 再生する録音データを選択

-  (  ) : 再生
-  (  ) : 一時停止
-  (  ) : 4秒巻き戻し
-  (  ) : 4秒早送り



### 録音一覧画面で利用できる機能

録音一覧画面で  (  ) を押すと、次の機能を使用できます。

項目	説明	
保護	1件保護／保護解除	録音データを1件保護／保護解除します。
	選択保護	録音データを複数選択して保護します。
削除※1	1件削除	録音データを1件削除します。
	選択削除	録音データを複数選択して削除します。
	全件削除	録音データを全件削除します。

※1 「録音機能設定」(→P.67) を「利用する(削除可)」に設定している場合のみ、操作できます。

## 非常送信機能を使用する (RED ALERT)

非常時、サーバーに通知を行うことができます。通知を行った場合、位置情報サービスにて指令局または指定した移動局で本機の音声のモニタリングができるようになります。本機はRED ALERTを解除するまでホームスクリーン以外の画面を表示できず、他の機能を使用できません。また、音声のモニタリング中も同様です。

- RED ALERT機能を利用するには、「RED ALERT機能設定」(→P.69) の「RED ALERT利用設定」にチェックを入れる必要があります。

### RED ALERTを起動する

#### 1 と を同時に長押し

通知バーに  が表示されます。

-  と  を同時に長押ししても、RED ALERTを起動できません。

#### お知らせ

- ロック画面表示中でもRED ALERTを起動できます。
-  を押すか、5分経過すると音声のモニタリングは終了します。モニタリングを行っている側での終了操作はできません。

## RED ALERTを解除する

### 1 とを同時に長押し

RED ALERTが解除されます。

- とを同時に長押ししても、RED ALERTを解除できます。

#### ■ 「RED ALERTのロック設定」を「パスコード」または「パスワード」に設定している場合

とを同時に長押し→パスコードまたはパスワードを入力→「OK」を選択します。

### お知らせ

- 「RED ALERTのロック設定」を「なし」に設定している場合は、電源を切ってもRED ALERTを解除できます。

## 5 状態表示

---

状態表示について .....	46
----------------	----

## 状態表示について

ホーム画面には、本機の利用者の現在の状態を表示する状態表示部があります。

状態表示部の状態は変更できます。状態が変更されるたびにサーバーに通知されます。



5

状態表示

## 状態表示を変更する

### 1 ホーム画面で

- ホーム画面で状態表示部をタップするか、ホーム画面で  (Menu) → 「状態変更」を選択しても、状態表示変更画面が表示されます。



### 2 状態を選択

#### お知らせ

- ホーム画面で  を長押しすると、状態表示が「登録解除」になります。

## 6 位置情報

---

位置情報について .....	48
----------------	----

## 位置情報について

GPS機能を使用して現在地を測位できます。また、一定時間が経過するたびに、または一定距離を移動するたびに、取得した位置情報をサーバーに通知できます。

- サーバーに通知された位置情報を確認するには、オプションサービスに加入する必要があります。
- ビルの谷間や山間部など GPS 衛星からの電波を受信しにくい場所では、測位に数分かかるか、測位ができないことがあります。また、屋内では測位できません。
- 指令局は位置情報機能を利用できません。
- 位置情報機能の設定については、「位置情報機能を設定する」(→P.66)をご参照ください。

## 7 メッセージ

---

メッセージの設定をする.....	50
メッセージを作成／送信する.....	50
受信したメッセージを確認する.....	53
メッセージを返信／転送する.....	54
メッセージ一覧画面について.....	54
メッセージ詳細表示画面について.....	55

## メッセージの設定をする

メッセージ機能を利用する前に、メッセージに関する設定を行ってください。

- 「機能設定」の「メッセージ機能設定」(→P.67)

## メッセージを作成／送信する

個別番号を送信先として全角162文字(半角324文字)までのメッセージを送信できます。

### 1 ホーム画面で (Menu) → 「新規メッセージ作成」



メッセージ作成画面

### 2 送信先 (To) 欄を選択 → 「番号帳」 → 送信する相手を選択



#### ■ 個別番号を入力する場合

送信先 (To) 欄を選択 → 「個別番号入力」 → 番号入力欄を選択 → 相手の番号を入力 →  (登録) を押します。

### 3 メッセージ欄を選択 → 本文を入力 →

- 一部の記号など、メッセージの本文に使用できない文字を入力した場合は、通知画面が表示され、入力を中止します。「OK」を選択することで入力画面に戻ります。



### 4 (送信)

メッセージが送信されます。

## お知らせ

- 2015年10月現在、指令局ではメッセージを送受信できません。
- 30秒以内に複数のメッセージを送信すると、1件目のメッセージのみが送信されます。
- 通話履歴や番号帳からもメッセージを作成できます（→ P.35、P.40）。

## メッセージ作成画面で使用できる機能

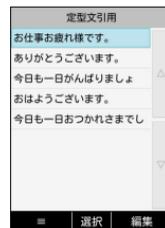
メッセージ作成画面で  (≡) を押すと、次の機能が使用できます。

項目	説明
送信先（番号帳）	送信する相手を番号帳から選択します。
送信先（個別番号入力）	送信する相手の個別番号を入力します。
定型文引用	「定型文を利用する」（→ P.51）
送信	メッセージを送信します。

## 定型文を利用する

本文に定型文を入力します。定型文は冒頭に入力されます。

### 1 メッセージ作成画面で (≡) → 「定型文引用」



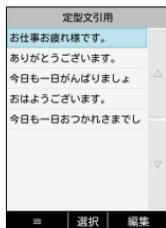
定型文引用画面

### 2 定型文を選択

## 定型文を編集する

- 定型文を編集するには、「定型文編集機能設定」(→P.67)にチェックを入れる必要があります。

### 1 メッセージ作成画面で (≡) → 「定型文引用」 → 編集する定型文にカーソルを移動



### 2 (編集) → 定型文を編集 → (登録)

#### ■ 定型文を追加する場合

 (≡) → 「新規」 → 定型文を入力 →  →  (登録) を押します。

## 定型文引用画面で使用できる機能

定型文引用画面で  (≡) を押すと、次の機能が使用できます。

項目	説明	
新規	定型文を追加します。	
編集	定型文を編集します。	
削除	1 件削除	定型文を 1 件削除します。
	全件削除	定型文を全件削除します。
上に移動	定型文を上に移動します。	
下に移動	定型文を下に移動します。	

## 受信したメッセージを確認する

メッセージを受信すると、通知LEDが点滅し、通知音が鳴ります。

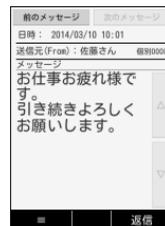
### 1 ホーム画面で を長押し

- ホーム画面で  (Menu) → 「受信メッセージ」を選択するか、ホーム画面で  をタップしても、受信メッセージ一覧画面が表示されます。



受信メッセージ一覧画面

### 2 メッセージを選択



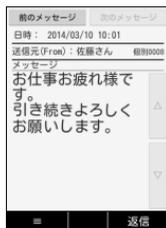
メッセージ詳細表示画面

### お知らせ

- 不在着信の通知音が鳴っているときにメッセージを受信した場合は、メッセージ受信の通知音は鳴りません。
- メッセージ受信の通知音は、電源キー以外のいずれかのキーを押すと止めることができます（スリープモード中やオールリセット画面、本体設定の一部設定画面表示中は除く）。

## メッセージを返信／転送する

### 1 ホーム画面で **Mode** を長押し→メッセージを選択



### 2 **Menu** (≡) → 「返信」または「転送」→メッセージを作成



### 3 **Mode** (送信)

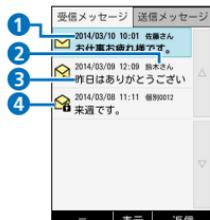
#### **お知らせ**

- ・ 位置情報サービスからのメッセージには返信できません。

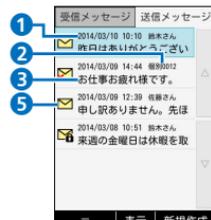
## メッセージ一覧画面について

本機に保存される受信メッセージ／送信メッセージは、それぞれ最大500件です。

### 1 ホーム画面で **Menu** (Menu) → 「受信メッセージ」または「送信メッセージ」



受信メッセージ  
一覧画面



送信メッセージ  
一覧画面

- 1 受信日時／送信日時
- 2 送信元／送信先  
個別番号が表示されます。  
番号帳に登録されている場合は、登録されている名称が表示されます。
- 3 本文
- 4 受信アイコン
  - ✉: 未読メッセージ
  - ✉: 既読メッセージ
  - ✉: 返信したメッセージ
  - ✉: 転送したメッセージ保護したメッセージは、アイコンに **i** が付きます。

## 5 送信アイコン

保護したメッセージは、アイコンに🔒が付きます。  
送信に失敗したメッセージは、アイコンに❌が付きます。

## メッセージ一覧画面で使用できる機能

メッセージ一覧画面で [Menu] (☰) を押すと、次の機能が使用できます。

項目	説明	
新規作成	メッセージを作成します。	
返信※1	「メッセージを返信／転送する」 (→P.54)	
転送※1	「メッセージを返信／転送する」 (→P.54)	
再編集※2	メッセージを編集します。	
保護	1件保護／保護解除	メッセージを1件保護／保護解除します。
	選択保護	メッセージを複数選択して保護します。
削除※3	1件削除	メッセージを1件削除します。
	選択削除	メッセージを複数選択して削除します。
	全件削除	メッセージを全件削除します。

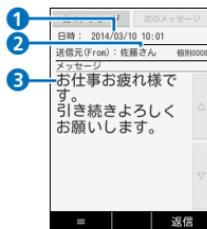
※1 受信メッセージ一覧画面でのみ表示されます。

※2 送信メッセージ一覧画面でのみ表示されます。

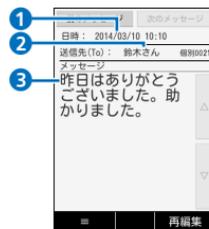
※3 「メッセージ削除機能設定」(→P.67) にチェックを入れている場合のみ、操作できます。

## メッセージ詳細表示画面について

### 1 受信メッセージ一覧画面または送信メッセージ一覧画面でメッセージを選択



受信メッセージ  
詳細表示画面



送信メッセージ  
詳細表示画面

- 1 受信日時／送信日時
- 2 送信元／送信先  
個別番号が表示されます。  
番号帳に登録されている場合は、登録されている名称と個別番号が表示されます。
- 3 本文

## ■ メッセージ詳細表示画面で使用できる機能

メッセージ詳細表示画面で  (  ) を押すと、次の機能が使用できます。

項目	説明
返信 <sup>※1</sup>	「メッセージを返信／転送する」(→P.54)
転送 <sup>※1</sup>	「メッセージを返信／転送する」(→P.54)
再編集 <sup>※2</sup>	メッセージを編集します。
保護／保護解除	メッセージを保護／保護解除します。
削除 <sup>※3</sup>	メッセージを削除します。

※1 受信メッセージ詳細表示画面でのみ表示されます。

※2 送信メッセージ詳細表示画面でのみ表示されます。

※3 「メッセージ削除機能設定」(→P.67) にチェックを入れている場合のみ、操作できます。

## 8 Bluetooth®

---

Bluetooth®機能をご利用になる前に.....	58
Bluetooth®機能を利用する .....	59

## Bluetooth®機能をご利用になる前に

### 主な仕様

規格	Bluetooth®標準規格 Ver. 3.0+EDR 準拠
対応プロファイル* <sup>1</sup>	HFP、HSP
出力	Bluetooth® Power Class2
使用周波数帯* <sup>2</sup>	2.4GHz
通信距離* <sup>3</sup>	10m

※1 接続する相手機器もBluetooth®機器であり、同じプロファイルに対応している必要があります。

※2 Bluetooth®機器が使用する電波帯（2.4GHz帯）は、さまざまな機器が共有しています。それらの影響によって、通信速度／通信距離が低下したり、通信が切断されることがあります。

※3 機器間の距離や障害物、電波状況、相手機器などにより変化します。

### Bluetooth®利用時のご注意

- 本機はすべてのBluetooth®機器との接続・動作を保証するものではありません。  
下記については、正常の動作を確認しております。
  - SoftBank SELECTION ワイヤレスモノラルヘッドセット（型番：SB-BT07-MHEM）
  - PLANTRONICS Bluetooth ワイヤレスヘッドセット M25（型番：M25）
- 接続するBluetooth®機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth®標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
- 接続するBluetooth®機器がBluetooth®標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、操作方法や表示／動作が異なるなどの現象が発生することがあります。
- ワイヤレス通話やハンズフリー通話をするとき、接続機器や通信環境により雑音が入ることがあります。
- ヘッドセット機器やハンズフリー機器の使いかたについては、各機器に付属の取扱説明書をご参照ください。

## Wi-Fi（無線LAN）との電波干渉について

Bluetooth®とWi-Fi (IEEE802.11b/g/n) は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、Wi-Fiを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本機やワイヤレス接続するBluetooth®機器は、Wi-Fi機器と10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Wi-Fi機器の電源を切ってください。

## Bluetooth®パスキー（認証コード）について

Bluetooth®パスキーは、Bluetooth®機器どうしを接続する際に任意に設定する1桁～16桁の英数字です。Bluetooth®機器を登録するときには、受信側/送信側とも同じパスキーを入力する必要があります。登録済みの機器の場合、パスキーの入力は必要ありません。

## Bluetooth®機能を利用する

### Bluetooth®機能を有効にする

- 1 ホーム画面で **Menu** を長押し → 「**本体設定**」 → 「**Bluetooth設定**」



Bluetooth 画面

- 2 「Bluetooth」の「OFF」を選択して「ON」にする

Bluetooth®機能が「ON」になります。



## Bluetooth®機器を登録する

周辺のBluetooth®機器を検索し、本機に登録します。

- あらかじめ、登録するBluetooth®機器のBluetooth®機能を有効にしてください。

### 1 ホーム画面で を長押し → 「本体設定」 → 「Bluetooth設定」

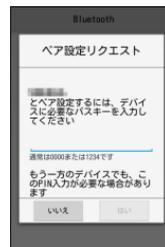
使用できるBluetooth®機器が自動的に検索され、一覧表示されます。

- Bluetooth®機能が「OFF」の場合は、「ON」に設定してください(→P.59)。
- 目的のBluetooth®機器が見つからないときは、「検索」を選択し、再検索を行ってください。



Bluetooth 画面

## 2 Bluetooth®機器を選択



### 3 パスキーを入力 → 「はい」

Bluetooth®機器が本機に登録（ペア設定）されます。

- 登録する機器によっては、認証方法が異なる場合があります。



### お知らせ

- ペア設定したBluetooth®機器の名前を変更するには、手順3の画面で「詳細」→「名前を変更」→名前を入力→「はい」を選択します。

## ペア設定を解除する

### 1 Bluetooth画面でペア設定を解除する Bluetooth®機器の「詳細」



### 2 「ペアを解除」 → 「はい」

## 登録済みのBluetooth®機器と接続する

### 1 ホーム画面で **Menu** を長押し → 「本体設定」 → 「Bluetooth設定」

登録済みのBluetooth®機器が一覧表示されます。



Bluetooth 画面

### 2 Bluetooth®機器を選択

- 機器によっては、選択しなくても自動で接続されます。

### お知らせ

- 本機を再起動した場合 (→P.12) は、登録済みのBluetooth®機器と自動で接続されません。上記手順を行い、手動で接続してください。

## ■ 接続を解除する

### 1 Bluetooth画面で接続を解除するBluetooth® 機器を選択



### 2 「はい」

## 9 端末設定

---

端末設定について .....	64
接続設定.....	64
機能設定.....	67
本体設定.....	70
グループ管理.....	72
マイクテスト.....	74
バックアップとリセット.....	75
最新バージョンの確認 .....	77
端末情報.....	77

## 端末設定について

本機の各機能を設定します。

### 1 ホーム画面で を長押し

- ホーム画面で  (Menu) → 「設定」を選択しても、設定画面が表示されません。

### 2 各項目を設定

項目	説明
接続設定	「接続設定」(→ P.64)
機能設定	「機能設定」(→ P.67)
本体設定	「本体設定」(→ P.70)
グループ管理	「グループ管理」(→ P.72)
マイクテスト	「マイクテスト」(→ P.74)
バックアップとリセット	「バックアップとリセット」(→ P.75)
最新バージョンの確認	「最新バージョンの確認」(→ P.77)
端末情報	「端末情報」(→ P.77)

### お知らせ

- 販売代理店にて、変更できないように設定されている項目は表示されません。

### 設定画面／接続設定画面／機能設定画面／本体設定画面／グループ管理画面／バックアップとリセット画面で使用できる機能

設定画面／接続設定画面／機能設定画面／本体設定画面／グループ管理画面／バックアップとリセット画面で  (  ) を押し、次の機能を利用できます。

項目	説明
ショートカット登録 <sup>*1</sup>	選択した項目をショートカットに登録します。

<sup>\*1</sup> 「ショートカット機能設定」(→P.67) を「利用する(編集可)」に設定している場合のみ、操作できます。

## 接続設定

不在着信時の通知や位置情報機能、RBT機能などを設定します。

### 1 ホーム画面で を長押し → 「接続設定」

接続設定画面が表示されます。

### 2 各項目を設定

項目	説明
無線機情報 (接続設定)	本機の個別番号や通信 ID、通信パスワード、サーバ IP アドレスなど、通信に必要な情報を確認します。
無通話タイムアウト設定	無通話状態が続いた場合、自動的に通話を切断するまでの時間を設定します。

項目		説明
終話設定		発信者からのみ通話を終了できるか、発信者・着信者のどちらからも通話を終了できるかを設定します。
通話開始位置時間設定		通話開始位置時間を設定します。「小」に設定すると、通話開始までの時間は短くなりますが、音質は劣ります。「大」に設定すると、通話開始までの時間は長くなりますが、音質は良くなります。
F/PTT 個別切替設定		[F]またはPTTスイッチを押すことで、個別通話に切り替えることができるようにするかどうかを設定します。
不在着信通知設定	不在着信利用設定	不在着信があったときに、通知LEDと通知音でお知らせするかどうかを設定します。
	鳴動時間設定	不在着信を通知する時間を設定します。
位置情報機能設定		「位置情報機能を設定する」(→P.66)

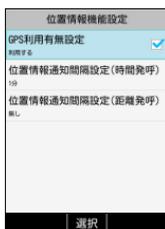
項目		説明
RBT 機能設定	RBT 利用設定	発信時、RBT 機能を利用するかどうかを設定します。RBT 機能を利用して発信した場合、着信者側が応答操作を行うと通話できます。RBT 機能を利用しないで発信した場合、着信者側のIP無線機は自動応答します。
	RBT 常時利用設定	「RBT 利用設定」を「常時利用」に設定している場合、RBT 機能を利用する呼出モード(通話モード)を選択します。
通話離脱設定		「一斉呼出」「強制一斉呼出」「グループ呼出」「強制グループ呼出」での通話時に、その通話から抜けられることができるようにするかどうかを設定します。

## 位置情報機能を設定する

### 1 接続設定画面で「位置情報機能設定」



### 2 「GPS利用有無設定」にチェックを入れる



### 3 「位置情報通知間隔設定(時間発呼)」→位置情報を通知する時間間隔を選択



### 4 「位置情報通知間隔設定(距離発呼)」→位置情報を通知する移動距離を選択



## 機能設定

ホーム画面に表示する情報や、メッセージ機能、RED ALERT機能などを設定します。

### 1 ホーム画面で を長押し → 「機能設定」

機能設定画面が表示されます。

### 2 各項目を設定

項目	説明
待受表示設定	「ホーム画面に表示する情報を設定する」(→ P.68)
デフォルト呼出表示設定	「デフォルト呼出表示を設定する」(→ P.68)
番号帳機能設定	番号帳を編集・削除できるようにするかどうかを設定します。
カテゴリ名称機能設定	番号帳のカテゴリの色と名称を編集できるようにするかどうかを設定します。
呼出モード設定	「呼出モード (通話モード) を設定する」(→ P.69)

項目		説明
メッセージ機能設定	メッセージ送信設定	メッセージを送信できるようにするかどうかを設定します。
	定型文編集機能設定	定型文を編集・削除できるようにするかどうかを設定します。
	メッセージ削除機能設定	送受信したメッセージを削除できるようにするかどうかを設定します。
	フォントサイズ	メッセージ作成時の本文入力画面やメッセージ詳細表示画面の文字サイズを設定します。
録音機能設定		録音データを削除できるようにするかどうかを設定します。
ショートカット機能設定		ショートカットを編集・削除できるようにするかどうかを設定します。
RED ALERT 機能設定		「RED ALERT 機能を設定する」(→ P.69)

## ホーム画面に表示する情報を設定する

### 1 機能設定画面で「待受表示設定」



### 2 ホーム画面に表示する情報を選択

- 「最終通話」：最後に発信／着信した相手の情報
- 「発信履歴」：最後に発信した相手の情報
- 「着信履歴」：最後に着信した相手の情報
- 「デフォルト」：「デフォルト呼出表示設定」(→P.68)で設定した情報

## デフォルト呼出表示を設定する

### 1 機能設定画面で「デフォルト呼出表示設定」



### 2 呼出モード（通話モード）欄を選択→呼出モード（通話モード）を選択

- 「一斉」「強制一斉」「近隣」を選択した場合は、手順4に進みます。



### 3 番号入力欄を選択→相手の番号を入力

- 入力した呼出モード（通話モード）と番号が番号帳に登録されている場合は、登録されている名称が表示されます。



### 4 Mode (登録)

## 呼出モード（通話モード）を設定する

本機で利用する呼出モード（通話モード）を設定します。

- 呼出モード（通話モード）の種類については、「呼び出して通話する」（→P.30）をご参照ください。

### 1 機能設定画面で「呼出モード設定」



### 2 利用する呼出モード（通話モード）にチェックを入れる

#### お知らせ

- 選択していない呼出モード（通話モード）は、ホーム画面で  (Mode) を押したときに表示されません。

## RED ALERT機能を設定する

非常時、サーバーに通知を行う非常送信機能（RED ALERT）を使用するかどうかを設定します。

RED ALERTを解除するときに、パスコードまたはパスワードを入力するように設定することもできます。

### 1 機能設定画面で「RED ALERT機能設定」



### 2 「RED ALERT利用設定」にチェックを入れる



### 3 「RED ALERTのロック設定」→「パスコード」または「パスワード」

- RED ALERTのロック設定をしない場合は、「なし」を選択します。



### 4 パスコードまたはパスワードを入力

- 「パスコードを表示する」または「パスワードを表示する」にチェックを入れると、入力したパスコードまたはパスワードが表示されます。

#### ■ パスコードを入力する場合

新しいパスコードを入力→「OK」→再度新しいパスコードを入力→「OK」を選択します。

#### ■ パスワードを入力する場合

新しいパスワードを入力→再度新しいパスワードを入力→「OK」を選択します。

## 本体設定

音量やディスプレイ、画面ロックなどを設定します。

### 1 ホーム画面で を長押し→「本体設定」

本体設定画面が表示されます。

### 2 各項目を設定

項目	説明
音・マイク設定	通話音量、着信やメッセージ受信の通知音量、本機の動作状態を示すブザー音量を調節します。通知音量およびブザー音量調節時は、実際の通知音・ブザー音とは異なり、確認音が鳴りますのでご注意ください。 「マナーモード」にチェックを入れると、マナーモードに設定できます。 「バイブレーション」にチェックを入れると、着信やメッセージ受信時などに本機を振動させることができます。 「外部機器接続時の本体スピーカーON」※ <sup>1</sup> にチェックを入れると、外部機器(スピーカーやマイクなど)接続中に本体スピーカーから音声などの出力ができます。 送話口を切り替えるには、「上マイク利用」または「下マイク利用」を選択します。

項目		説明
ディスプレイ設定	画面の明るさ設定	画面の明るさを調整します。「明るさを自動調整」にチェックを入れると、明るさセンサーにより明るさを自動で調整します。
	スリープモードにしない	スリープモードとは、一定時間本機を操作しないとバックライトが消灯する機能です。チェックを入れると、充電中のみスリープモードに移行しないようにできます。
	スリープ移行時間設定	スリープモードに移行する時間を設定します。
	タッチパネル補正	タッチパネルの補正を行います。タッチパネル補正の実行中、タップした位置を示す点が実際にタップした位置から少しずれて表示されることがありますが、正規の補正動作であり、異常ではありません。画面に表示される指示に従って補正を行ってください。
画面のロック設定		「画面ロックを設定する」(→P.22)
時間表示設定	通話時間表示設定	通話中画面に通話時間を表示するかどうかを設定します。
	日時設定	本機の日時を設定します。「自動時刻補正 (NITZ)」にチェックを入れると、日時を自動的に設定します。

項目	説明
画面タッチ設定 <sup>※2※3</sup>	ディスプレイのタップ操作を有効にするかどうかを設定します。ただし、機能によっては、「タッチ操作無効」に設定してもタップ操作ができる場合があります。
各種キー利用設定 <sup>※2※3</sup>	キー操作を有効にするかどうかを設定します。「テンキー無効」を選択すると、  ~  、  、  のキー操作が無効になります (画面ロック中を除く)。「F ボタン / PTT スイッチのみ有効」を選択すると、  および PTT スイッチ以外のキー操作が無効になります。「本体 PTT スイッチ強制無効」「外部 PTT スイッチ強制無効」を選択すると本体の PTT スイッチ、または外部スピーカマイク (別売品) の PTT スイッチを無効にすることができます。本体と外部スピーカマイク (別売品) の両方の PTT スイッチを無効にすることもできます。
圏外時、切断 ON / OFF 設定	電波状態が悪くなったときに、通話を切断するタイミングを設定します。ただし、設定したタイミングで切断されない場合もあります。

項目	説明
電波 OFF モード	電波を発する機能を無効にするかどうかを設定します。
Bluetooth 設定	「Bluetooth <sup>®</sup> 機能を利用する」 (→ P.59)

- ※1 「外部機器接続時の本体スピーカON」の設定にかかわらず、外部機器接続中にホーム画面／通話中画面で  を長押しすると、本体スピーカのON/OFFを切り替えることができます。
- ※2 「画面タッチ設定」の「タッチ操作無効」と「各種キー利用設定」の「Fボタン／PTTスイッチのみ有効」の両方を有効にしようとする、確認画面が表示されます。内容確認後、有効にする場合は「はい」を選択します。
- ※3 「画面タッチ設定」の「タッチ操作無効」と「各種キー利用設定」の「Fボタン／PTTスイッチのみ有効」の両方を有効にしている場合でも、通話中には  で音量の調整ができます。

## グループ管理

本機が登録されているグループを確認したり、本機をグループに登録したりします。

### 1 ホーム画面で を長押し→「グループ管理」

グループ管理画面が表示されます。

### 2 各項目を設定

項目	説明
グループ一覧確認／変更	「グループを確認する」(→ P.73)
グループ登録※ <sup>1</sup>	「グループに登録する」(→ P.73)
グループ通話 割込設定※ <sup>2</sup>	通話中のグループに割り込めるようにするかどうかを設定します。「利用する(割込可)」に設定すると、通話に割り込みたいグループへの登録(→ P.73)が成功したあとに通話に割り込むことができます。
未所属グループ 発信抑止設定※ <sup>1</sup>	本機が登録されていないグループへ発信できないようにするかどうかを設定します(「地域呼出」「近隣呼出」を除く)。「利用する(発信不可)」に設定した場合は、「グループを確認する」(→ P.73)の操作を行ってグループ情報を更新してください。

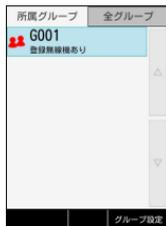
※1 指令局では表示されません。

※2 指令局では設定できません。

## グループを確認する

### 1 グループ管理画面で「グループ一覧確認／変更」

- 「所属グループ」タブには、本機が登録されているグループが表示されます。すべてのグループを確認するには、「全グループ」タブを選択します。



## お知らせ

- 所属グループ一覧画面または全グループ一覧画面で  (グループ設定) → 登録するグループを選択すると、本機をグループに登録できます。ただし、ご契約時に「グループ設定」を「Web」に設定されている場合は、本操作はできません。

## グループに登録する

### 1 グループ管理画面で「グループ登録」



### 2 グループ番号を入力

- すでに番号が入力されている場合は、 を押して番号をリセットしてから入力します。
- グループ登録履歴が表示されている場合は、グループ登録履歴からグループを選択 → 「はい」を選択しても登録できます。



### 3 (登録)

## お知らせ

- ご契約時に「グループ設定」を「Web」に設定されている場合でも、本機でグループ登録できます。ただし、複数のグループに登録されていた場合は、本機で設定したグループのみの登録となり、他のグループからは解除されます。
- 登録したグループが通話中の場合、手順3で登録が成功したあとに通話に割り込むことができます。あらかじめ、「グループ通話 割込設定」(→P.72)を「利用する(割込可)」に設定する必要があります。

## グループ登録画面で使用できる機能

グループ登録画面で  (  ) を押すと、次の機能を使用できます。

項目	説明	
履歴削除	1 件削除	グループ登録履歴を 1 件削除します。
	全件削除	グループ登録履歴を全件削除します。
ショートカット登録※ 1	画面	表示しているグループ登録画面をショートカットに登録します。
	選択中グループ	選択したグループをショートカットに登録します。

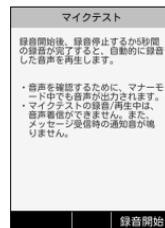
※ 1 「ショートカット機能設定」(→P.67)を「利用する(編集可)」に設定している場合のみ、操作できます。

## マイクテスト

マイクの受信感度を確認します。

### 1 ホーム画面で を長押し→「マイクテスト」

-  または  を押すと、音量を調節できます。



### 2 (録音開始)

録音が始まります。



### 3 (録音停止)

録音が停止し、録音した音声自動的に再生されます。

-  (録音停止) を押さなくても、約5秒経過すると自動的に録音が停止します。
- 再生を停止するには、 (再生停止) を押します。

### お知らせ

- マナーモード中でも音声が出力されます。
- マイクテストの録音中・再生中は、音声着信やメッセージの受信等の通信ができません。
- Bluetooth®対応機器と接続中にマイクテストの録音・再生を行った場合は、一時的に通信が切断されます。
- 通話時とは音質が異なる場合があります。

## バックアップとリセット

### 1 ホーム画面で を長押し → 「バックアップとリセット」

バックアップとリセット画面が表示されます。

### 2 各項目を設定

項目	説明
発着信履歴 削除機能設定	通話履歴を削除できるようにするかどうかを設定します。
無線機設定バックアップ	「本機の設定内容をSDカードにバックアップ・復元する」(→ P.75)

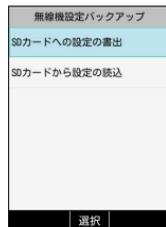
項目	説明
オールリセット	「リセットする」(→ P.76)

## 本機の設定内容をSDカードにバックアップ・復元する

本機の設定内容と番号帳をSDカードにバックアップしたり、復元したりします。

- 電池残量が少ないと、バックアップ・復元ができません。十分に充電したうえで操作してください。

### 1 バックアップとリセット画面で「無線機設定バックアップ」



### 2 「SDカードへの設定の書出」 → 「はい」 → 「OK」

- SDカードのバックアップファイルを本機に復元する場合

「SDカードから設定の読込」 → 「はい」 → 「OK」を選択します。

## ！ ご注意

- すでに SD カードにバックアップファイルがある場合は、バックアップを行うとファイルが上書きされます。
- バックアップファイルのファイル名は「Setting.dat」と「Address.dat」です。ファイル名を変更すると復元できません。

## 📞 お知らせ

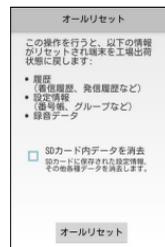
- バックアップファイルを復元すると、本機の設定内容と番号帳はそれぞれバックアップファイルの内容に変更されます。SDカードにあるバックアップファイルがどちらか一方だけの場合は、バックアップがあるものだけ変更されます。
- バックアップファイルの復元に失敗した場合は、設定内容や番号帳は変更されません。

## リセットする

通話履歴や番号帳、録音データなどを消去し、本機を工場出荷状態に戻します。

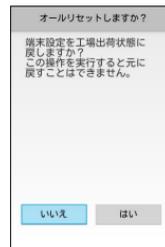
- ご契約時に販売代理店で設定した内容もすべて消去されます。ご契約時の状態に戻す場合は、あらかじめ本機の設定内容をSDカードにバックアップし、リセット後にバックアップファイルを復元してください。
- 電池残量が少ないと、リセットができません。十分に充電したうえで操作してください。

## 1 バックアップとリセット画面で「オールリセット」



## 2 「オールリセット」

- 「SDカード内データを消去」にチェックを入れると、SDカード内のデータがすべて消去されます。バックアップファイルも消去されますのでご注意ください。



## 3 「はい」 → 「はい」

本機のデータがすべて消去され、設定内容が工場出荷状態に戻ります。

## 最新バージョンの確認

本機のソフトウェアバージョンを確認します。ソフトウェアが最新ではない場合、最新のソフトウェアに更新できます。

- ソフトウェアの更新については、「ソフトウェアの更新について」(→P.24) をご参照ください。

## 端末情報

電池残量や電話番号、GPSによる緯度・経度情報など、本機の状態を確認します。

- 1 ホーム画面で **Menu** を長押し → 「端末情報」





## 10 困ったときは

---

トラブルシューティング .....	80
仕様 .....	81
保証とアフターサービス.....	83
お問い合わせ先一覧 .....	84
索引 .....	85

## トラブルシューティング

### 故障とお考えになる前に

気になる症状の内容を確認しても症状が改善されない場合は、お買い上げの販売代理店までご連絡ください。

#### 電源が入らない

- [Ⓜ]を長押ししていますか (→P.12)。
- 電池残量がなくなっていますか。充電してください (→P.11)。充電開始後すぐに電源を入ると、正しく起動しない場合があります。

#### 発信／着信しない

- 電波の弱い場所や圏外の場所にいませんか。電波状況がよいところに移動してください。
- 「無線機情報 (接続設定)」 (→P.64) が正しく設定されていますか。

#### こちらの声が相手に聞こえない (音声を送信できない)

- PTTスイッチを押し続けていますか。PTTスイッチを押し続けている間、音声を送信されます。
- 本機には送話口が2箇所あります (→P.2)。「音・マイク設定」 (→P.70) で使用する送話口を設定してください。
- PTTスイッチを押して、一呼吸おいてから話し始めてください。

#### 通話が切断される

- 5分以上経過すると、自動的に切断されます。
- 無通話状態が続いていませんか。無通話状態が続いた場合、「無通話タイムアウト設定」 (→P.64) で設定した時間が経過すると、自動的に切断されます。
- 「圏外時、切断ON/OFF設定」 (→P.71) の設定によっては、電波状態が悪くなったときに通話が切断される場合があります。

#### メッセージを送受信できない

- 電波の弱い場所や圏外の場所にいませんか。電波状況がよいところに移動してください。
- 「メッセージ送信設定」 (→P.67) にチェックを入れないとメッセージを送信できません。
- 送信先が指令局または位置情報サービスになっていませんか。2015年10月現在、指令局にはメッセージを送信できません。また、位置情報サービスにはメッセージを送信できません。
- 本機が指令局の場合は、メッセージを送受信できません。

#### 画面ロックが解除できない

- パスコードまたはパスワードが間違っていないか。

#### GPSを受信できない

- 電波の弱い場所や屋内、圏外の場所にいませんか。電波状況がよく見晴らしのよいところに移動してください。
- 「GPS利用有無設定」 (→P.66) にチェックを入れないとGPS機能を利用できません。
- 本機が指令局の場合は、GPS機能を利用できません。

## ■ 電池の消費が早い

- 電波の弱い場所や圏外の場所にいると、電池を多く消費します。
- 「スリープ移行時間設定」(→ P.71) を長い時間に設定していませんか。スリープ移行時間が長いと、電池を多く消費します。

## ■ 充電できない

- 本機のUSB接続端子にACアダプタが正しく接続されていますか (→P.11)。

## 仕様

### ■ 301SJ 端末本体

質量	約290g (電池パック装着時)
使用可能時間 <sup>※1※2</sup>	約12時間
連続待受時間 <sup>※2</sup>	約16時間
充電時間 <sup>※2※3</sup>	約230分
サイズ (幅×高さ×奥行)	約69×160×20mm (突起部除く)
最大出力	0.25W

※1 受信1：送信1：待受8の割合で使用した場合の数値です。

※2 数値は目安となり、ご利用環境、設定によって異なる場合があります。

※3 本機の電源を切ってACアダプタを使って充電した場合の数値です。

### ■ 電池パック (SJBAC1)

電圧	3.7V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	4080mAh
サイズ (幅×高さ×奥行)	約53.8×90.0×9.7mm

## ■ ACアダプタ (SJCAC1)

電源	AC100V、50/60Hz
消費電力	13W
出力電圧／出力電流	DC5V／1.8A
充電温度範囲	0℃～40℃
サイズ（幅×高さ×奥行）	約60×44×30mm（突起部、コード除く）
コードの長さ	約1,200mm

### 使用材料

## ■ 301SJ 端末本体

使用箇所	材質／表面処理
外装ケース（表面、側面）	ガラス強化 PC 樹脂、ポリウレタン
外装ケース（背面、電池カバー）	ガラス強化 PC 樹脂
外装ケース（電池収納部）	ステンレス
アンテナ	ポリウレタン、ステンレス
電源キー	ポリウレタン
PTT スイッチ	ポリウレタン
USB 接続端子キャップ	ポリウレタン
USB 接続端子キャップ（パッキン部内側）	ガラス強化 PC 樹脂
外部機器接続端子カバー	ポリウレタン

使用箇所	材質／表面処理
外部機器接続端子カバー（ねじ穴）	ステンレス
ディスプレイ／タッチパネル	PET、強化ガラス
キー	PC 樹脂
ねじカバー	シリコンゴム
電池カバー用ねじ	ステンレス
外部機器接続端子カバー用ねじ	ステンレス
充電端子	ステンレス／金メッキ

## ■ 電池パック (SJBAC1)

使用箇所	材質／表面処理
外装ケース	PC+ABS 樹脂
充電端子	銅合金／ニッケルメッキ
ラベル	PE

## ■ ACアダプタ (SJCAC1)

使用箇所	材質／表面処理
外装ケース	PC+ABS 樹脂
プラグ	銅合金／ニッケルメッキ
ケーブル	PVC
USB コネクタ	ステンレス／ニッケルメッキ
USB コネクタハウジング	LCP 樹脂
ラベル	PET

## 保証とアフターサービス

### 保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。

### 損害について

本機の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

### 故障・修理について

故障または修理により、お客様が登録・設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な番号帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（番号帳など）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

### 分解・改造について

本機を分解・改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

### アフターサービスについて

修理を依頼される場合、お買い上げの販売代理店までご連絡ください。その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

## お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などございましたら、お気軽にお買い上げの販売代理店または下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

### ■ IP無線機専用テクニカルコールセンター

0120-720-751（無料）

お問い合わせ受付時間：24時間

### 盗難・紛失された場合

必ず、緊急利用停止の手続きを行ってください。

### ■ ソフトバンク・ビジネスコールセンター

0800-919-3909（無料）

### ご利用を停止される場合

ご利用停止の手続きを行ってください。

### ■ ソフトバンク・ビジネスコールセンター

0800-919-3909（無料）

# 索引

## 英数字

Bluetooth®	58
GPS	48
RED ALERT	43
SDカード	7
取り付け	7
取り外し	8
USIMカード	5
取り付け	6
取り外し	6

## あ

アフターサービス	83
位置情報	48
移動局	16
お問い合わせ先一覧	84

## か

画面ロック	21
解除	23
設定	22
パスコード	21
パスワード	21
ロック	22
機能設定	67
グループ管理	72

## さ

充電	11
状態表示	46

ショートカット	41
登録	41
指令局	16
接続設定	64
ソフトウェア更新	24
実行	24

## た

タッチパネル	12
端末情報	77
端末設定	64
機能設定	67
グループ管理	72
接続設定	64
端末情報	77
バックアップとリセット	75
本体設定	70
マイクテスト	74
着信	36
不在着信	38
着信履歴	34
通知アイコン	28
通知バー	27
通知バーの見かた	27
通話	
個別通話に切り替え	37
着信	36
抜ける	37
発信	30
呼出モード（通話モード）	30
録音	42
通話モード	30
通話履歴	34
電源	
入れる	12

切る	12
再起動	12
電池バック	
充電	11
取り付け	9
取り外し	10
電波OFFモード	21
設定	21
トラブルシューティング	80

## は

パスコード	21
パスワード	21
バックアップ	75
バックアップとリセット	75
発信	30
ショートカットから	34
通話履歴から	33
番号帳から	33
発信履歴	34
番号帳	39
確認	39
登録	39
編集	39
非常送信機能	43
ホーム画面	26
ホーム画面の見かた	26
保証	83
本体設定	70

## ま

マイクテスト	74
マナーモード	21
設定	21

無線機情報	18
メッセージ	
確認	53
作成／送信	50
転送	54
返信	54
メッセージ一覧画面	54
メッセージ詳細表示画面	55
文字入力	18
顔文字	19
キー割り当て	18
記号	19
日本語入力	19
文字種切り替え	19

---

## や

---

呼出モード	30
-------	----

---

## ら

---

リセット	76
録音	42

# MEMO

# MEMO

# SoftBank 301SJ 取扱説明書

---

2016 年 2月 第 7 版発行

**ソフトバンク株式会社**

\* ご不明な点はお求めになられた  
販売代理店にご相談ください。

機種名 SoftBank 301SJ

製造元 西菱電機株式会社

---

# SoftBank 301SJ User Guide 取扱説明書



モバイルリサイクルネットワーク  
携帯電話PHSの回収・リサイクル

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる通信端末・付属品類をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※回収した通信端末・付属品類はリサイクルするためご返却できません。

※プライバシー保護の為、端末に記憶されているお客様の情報(アドレス帳・通話履歴・メール等)は、事前に消去願います。